

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 第 1 回 学生交流委員会
議事次第

日 時：2024 年 5 月 7 日（火）15:00～16:30

場 所：オンライン Zoom

委員校：神戸常盤大学（委員長校）・神戸学院大学（副委員長校）

芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、
関西学院短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、
神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、
神戸女子短期大学、神戸親和大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、姫路大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、
兵庫県立大学

計 25 校

I. 開会

1. 委員長校・副委員長校挨拶
2. 委員紹介 (資料 1)
3. 大学コンソーシアムひょうご神戸について (資料 2)

II. 協議事項

1. 2024 年度事業計画（詳細）・予算について (資料 3)
2. note 記事寄稿学生への謝礼について (資料 4)
3. その他

III. 報告事項

1. 2023 年度事業について (資料 5)
 - ・日本財団ボランティアセンター共催事業について
 - ・ナガセケムテックス株式会社 presents ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト
 - ・兵庫の魅力兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project
2. 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報について
 - ・大学連携組織を活用した県民向け防災施策 PR 動画作成委託業務
3. その他

IV. 意見交換

1. 能登半島地震学生ボランティアについて
2. 阪神・淡路大震災 30 年に向けて
3. その他

V. 連絡・調整事項

1. 定時総会 日時：6 月 5 日（水）15:00～16:30
 2. 2024 年度の学生交流委員会開催日程
- 第 2 回委員会 6 月：能登半島地震ボランティアについて情報交換

第3回委員会 9月：2024年度タイプ3プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）

第4回委員会 12月：2024年度 自己評価（案）

第5回委員会 2月：2025年度 事業計画・予算案（案）

第6回委員会 3月：2025年度 事業報告・決算（案）

以上

<配布資料>

資料 1-1：2024 年度 学生交流委員会委員

資料 1-2：2024 年度 第1回学生交流委員会出席者名簿

資料 2-1：2024 年度 正会員一覧

資料 2-2：2024 年度 賛助会員一覧

資料 2-3：2024 年大学コンソーシアムひょうご神戸について（学生交流）

資料 3：2024 年度 事業計画詳細（案）

資料 4-1：加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施について

資料 5-1：2023 年度学生交流委員会事業報告・決算

資料 5-2：ナガセケムテックス株式会社 presents

ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト 2023 報告書

資料 5-3：兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project 実施概要

資料 5-4：大学連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成委託業務報告書

参考資料 1：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）

参考資料 2：事業委員会の運営に関する申し合わせ

2024年度大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会 委員

資料1-1

No.	加盟校数	学校名	所属	役職	氏名
1	1	芦屋大学	大学総務部	部長	吉田 祐治
2		芦屋大学	事務室	事務長	新谷 隆之
3	2	大手前大学	大手前短期大学 医療事務総合学科	教授	北島 順子
4	3	大手前短期大学	大手前短期大学 医療事務総合学科	教授	北島 順子
5	4	関西国際大学	教育福祉学科	学生センター長(教授)	梶 正義
6		関西国際大学	学生部	次長	山住 隆司
7	5	関西学院大学	研究推進社会連携機構	社会連携コーディネーター 経済学部教授	秋吉 史夫
8		関西学院大学	研究推進社会連携機構事務部		谷口 雄亮
9	6	関西学院短期大学	研究推進社会連携機構	社会連携コーディネーター 経済学部教授	秋吉 史夫
10		関西学院短期大学	研究推進社会連携機構事務部		谷口 雄亮
11	7	甲南大学	地域連携センター	所長	阿部 真大
12		甲南大学	社会連携機構事務室	課長補佐	西村 勝利
13	8	甲南女子大学	対外協力センター	対外協力センター長	岩崎 佳孝
14		甲南女子大学	対外協力センター社会連携課	社会連携課長	松井 小枝子
15	9	神戸大学	地域連携推進本部	特命准教授	山地 久美子
16		神戸大学	研究推進部連携推進課	派遣職員	梶 めぐみ
17	10	神戸海星女子学院大学	心理こども学科	講師	渡邊 恵梨佳
18		神戸海星女子学院大学	教学課	係長	神原 美緒
19	11	神戸学院大学	学生支援センター	所長	西脇 満
20		神戸学院大学	学生支援センター 学生支援グループ	グループ長	岸本 和美
21	12	神戸市看護大学	専門基礎科学領域	准教授	神谷 訓康
22	13	神戸松蔭女子学院大学	学生課	学長補佐(学生担当)	土肥 伊都子
23		神戸松蔭女子学院大学	学生課	次長	左官 雅範
24	14	神戸女学院大学	学生生活支援センター	課長	井上 奈津子
25		神戸女学院大学	学生部	学生副部長	松浦 修
26	15	神戸女子大学	看護学部	教授	藤田 冬子
27		神戸女子大学	地域連携推進事務室	室長	山下 功晃
28	16	神戸女子短期大学	看護学部	教授	藤田 冬子
29		神戸女子短期大学	地域連携推進事務室	室長	山下 功晃
30	17	神戸親和大学	学生サービスセンター	学生担当部長	宮辻 和貴
31		神戸親和大学	学生サービスセンター事務局	学生担当課長	金山 桂子
32	18	神戸常盤大学	地域交流センター	センター長	中村 忠司
33		神戸常盤大学	法人本部 企画調整課	課長	工藤 達也
34	19	頌栄短期大学		講師	川島 直子
35		頌栄短期大学	総務部総務課	課員	近藤 実咲
36	20	園田学園女子大学	社会連携部	部長	稲垣 憲治
37		園田学園女子大学	社会連携部	主任	小林 理恵子
38	21	園田学園女子大学短期大学部	社会連携部	部長	稲垣 憲治
39		園田学園女子大学短期大学部	社会連携部	主任	小林 理恵子
40	22	姫路大学	看護学部	教授	鈴木 千絵子
41		姫路大学	教務・学生・厚生課	主任	山田 憲豊
42	23	兵庫大学	エクステンション・カレッジ事務室	次長	吉田 浩司
43	24	兵庫大学短期大学部	エクステンション・カレッジ事務室	次長	吉田 浩司
44	25	兵庫県立大学	兵庫県立大学	副学長	坂下 玲子
45		兵庫県立大学	教育企画部教育企画課	次長兼課長	大河内 理恵子

大学コンソーシアムひょうご神戸 第1回 学生交流委員会 出席者名簿 (2024.05.07)

資料1-2

学校	No	大学名	所属部署	役職名	出席者名
1	1	芦屋大学	大学総務部	部長	吉田 祐治
2	2	関西国際大学	学生部	次長	山住 隆司
3	3	関西学院大学	研究推進社会連携機構事務部		谷口 雄亮
4	4	関西学院短期大学	研究推進社会連携機構事務部		谷口 雄亮
5	5	甲南大学	社会連携機構事務室	課長	松下 賢一
6	6	甲南女子大学	対外協力センター社会連携課	社会連携課長	松井 小枝子
	7	甲南女子大学	対外協力センター社会連携課	主任	木村 野恵
	8	甲南女子大学	対外協力センター社会連携課	副主任	田淵 元子
7	9	神戸大学	地域連携推進本部	特命准教授	山地 久美子
8	10	神戸海星女子学院大学	教学課	係長	神原 美緒
9	11	神戸学院大学	学生支援センター 学生支援グループ	グループ長	岸本 和美
	12	神戸学院大学	学生支援センター 学生支援グループ	サブリーダー	島内 将友
10	13	神戸市看護大学	専門基礎科学領域	准教授	神谷 訓康
11	14	神戸松蔭女子学院大学	学生課	学長補佐(学生担当)	土肥 伊都子
	15	神戸松蔭女子学院大学	学生課	次長	左官 雅範
12	16	神戸女学院大学	学生生活支援センター	課長	井上 奈津子
13	17	神戸女子大学	地域連携推進事務室	室長	山下 功晃
14	18	神戸女子短期大学	地域連携推進事務室	室長	山下 功晃
15	19	神戸親和大学	学生サービスセンター事務局	学生担当課長	金山 桂子
16	20	神戸常盤大学	法人本部 企画調整課	課長	工藤 達也
17	21	頌栄短期大学	総務部総務課	課員	近藤 実咲
18	22	園田学園女子大学	社会連携部	主任	小林 理恵子
19	23	園田学園女子大学短期大学部	社会連携部	主任	小林 理恵子
20	24	姫路大学	教務・学生・厚生課	主任	山田 憲豊
	25	姫路大学	教務学生厚生課	副主査	西田 順一
21	26	兵庫県立大学	教育企画部教育企画課	次長兼課長	大河内 理恵子

2024年度 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 正会員一覧
◆正会員数 36校(29大学、6短期大学・短期大学部、1高等専門学校)

資料2-1

(敬称略)

学校	法人名	大学・学校名	学長・校長	備考
1	独立行政法人国立高等専門学校機構	1 明石工業高等専門学校	土居 信数	
2	芦屋学園	2 芦屋大学	窪田 幸子	
3	大手前学園	3 大手前大学	平野 光俊	
		4 大手前短期大学	福井 洋子	
4	濱名山手学院	5 関西国際大学	濱名 篤	
5	関西金光学園	6 関西福祉大学	加藤 明	
6	関西学院	7 関西学院大学	森 康俊	
		8 関西学院短期大学	碓氷 ゆかり	2024年度新任
7	甲南学園	9 甲南大学	中井 伊都子	
8	甲南女子学園	10 甲南女子大学	秋元 典子	
9	国立大学法人神戸大学	11 神戸大学	藤澤 正人	
10	都築学園	12 神戸医療未来大学	鎌田 積	
11	海星女子学院	13 神戸海星女子学院大学	石原 敬子	
12	神戸学院	14 神戸学院大学	中村 恵	
13	谷岡学園	15 神戸芸術工科大学	松村 秀一	2024年度新任
14	八代学院	16 神戸国際大学	下田 繁則	2024年度新任
15	神戸市公立大学法人神戸市外国語大学	17 神戸市外国語大学	田中 悟	
16	公立大学法人神戸市看護大学	18 神戸市看護大学	江川 幸二	
17	松蔭女子学院	19 神戸松蔭女子学院大学	徳山 孝子	2024年度新任
18	神戸女学院	20 神戸女学院大学	中野 敬一	
19	行吉学園	21 神戸女子大学	栗原 伸公	
		22 神戸女子短期大学	栗原 伸公	
20	親和学園	23 神戸親和大学	松田 恵示	2024年度新任
21	玉田学園	24 神戸常盤大学	濱田 道夫	
22	神戸薬科大学	25 神戸薬科大学	北川 裕之	
23	頌栄保育学院	26 頌栄短期大学	関田 良	
24	園田学園	27 園田学園女子大学	大江 篤	
		28 園田学園女子大学短期大学部	大江 篤	
25	平成医療学園	29 宝塚医療大学	岸野 雅方	
26	弘徳学園	30 姫路大学	郷間 英世	2024年度新任
27	睦学園	31 兵庫大学	河野 真	
		32 兵庫大学短期大学部	河野 真	
28	国立大学法人兵庫教育大学	33 兵庫教育大学	加治佐 哲也	
29	兵庫県公立大学法人	34 兵庫県立大学	高坂 誠	
		35 芸術文化観光専門職大学	平田 オリザ	
30	中内学園	36 流通科学大学	清水 信年	2024年度新任

◆賛助会員数 45社

	会員名	業種	入会年度	コンソとの連携事業			
				国際交流	学生交流	キャリア	企画運営
1	株式会社 あみだ池大黒	食料品（菓子製造販売）	2022年度		○	○	
2	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社	海外留学プログラムの販売促進	2023年度			○	
3	株式会社ECC	教育関連	2018年度			○	
4	株式会社池田泉州銀行	普通銀行業務	2018年度			○	
5	エム・シーシー食品株式会社	調理食品専門メーカー	2022年度	○		○	
6	株式会社オークハウス	不動産業	2024年度				
7	大阪中小企業投資育成株式会社	投資育成業	2023年度			○	
8	株式会社学生情報センター	不動産	2007年度			○	
9	株式会社グローパルトラストネットワークス	金融・保険・不動産業	2023年度			○	
10	神戸商工会議所	経済団体	2018年度			○	○
11	神戸トヨペット株式会社	自動車販売	2018年度			○	
12	是川ホンダ販売株式会社	自動車販売、点検、整備、保険等	2024年度				
13	株式会社サンエース	商社・住宅（リフォーム）	2022年度			○	
14	株式会社JTB 神戸支店	旅行業	2018年度	○		○	○
15	株式会社シマブンコーポレーション	鉄鋼卸売	2022年度			○	
16	株式会社シュゼット・ホールディングス	製造業（菓子・パン類）	2023年度			○	
17	新明和工業株式会社	メーカー	2023年度			○	
18	医療法人社団星晶会	医療福祉	2022年度			○	○
19	センコー株式会社 阪神主管支店	物流	2022年度			○	
20	総合警備保障株式会社	サービス業（警備）	2023年度			○	
21	株式会社TAT	商社	2016年度			○	○
22	東洋証券株式会社	証券業	2021年度				
23	ナガセケムテックス株式会社	化学メーカー	2022年度		○		
24	株式会社日本ツアーサービス	旅行業	2021年度				
25	日本通運株式会社 大阪支店	陸運業・物流業・倉庫業他	2023年度			○	○
26	日本テクノロジーソリューション株式会社	テクノロジー事業・他	2016年度			○	○
27	株式会社日本ビジネスデータープロセッシングセンター	ITソリューション事業・他	2020年度			○	○
28	株式会社ノーリツ	ガス・石油機器製造	2022年度			○	
29	株式会社ノザワ	製造業（窯業）	2024年度				
30	白鶴酒造株式会社	清酒製造業	2022年度			○	
31	株式会社パソナグループ	総合人材サービス・他	2022年度			○	
32	バンドー化学株式会社	製造業	2019年度			○	○
33	兵庫県経営者協会	経済団体	2020年度			○	
34	富士通Japan株式会社	情報・通信業	2007年度				
35	株式会社ブレックス	運輸業	2018年度			○	
36	丸善雄松堂株式会社	小売業	2007年度			○	○
37	株式会社マルヤナギ小倉屋	食品	2023年度		○		○
38	株式会社みなと銀行	銀行業	2016年度			○	○
39	株式会社山上	商社	2023年度			○	
40	株式会社ヤマシタワークス	製造業	2023年度			○	
41	株式会社立成社	スポーツ・教育	2022年度		○		
42	株式会社レック	冠婚葬祭	2016年度			○	
43	株式会社ロジックアンドサプライズ	外国人材採用支援業・他	2013年度				○
44	株式会社ロック・フィールド	食料	2016年度			○	
45	和田興産株式会社	不動産業	2017年度			○	○

設立

2006年6月12日（2016年4月1日 一般社団法人を設立）

正会員

36校（29大学、6短期大学・短期大学部、1高等専門学校）

特別会員

1団体（独立行政法人 日本学生支援機構）

賛助会員

45社

学生数

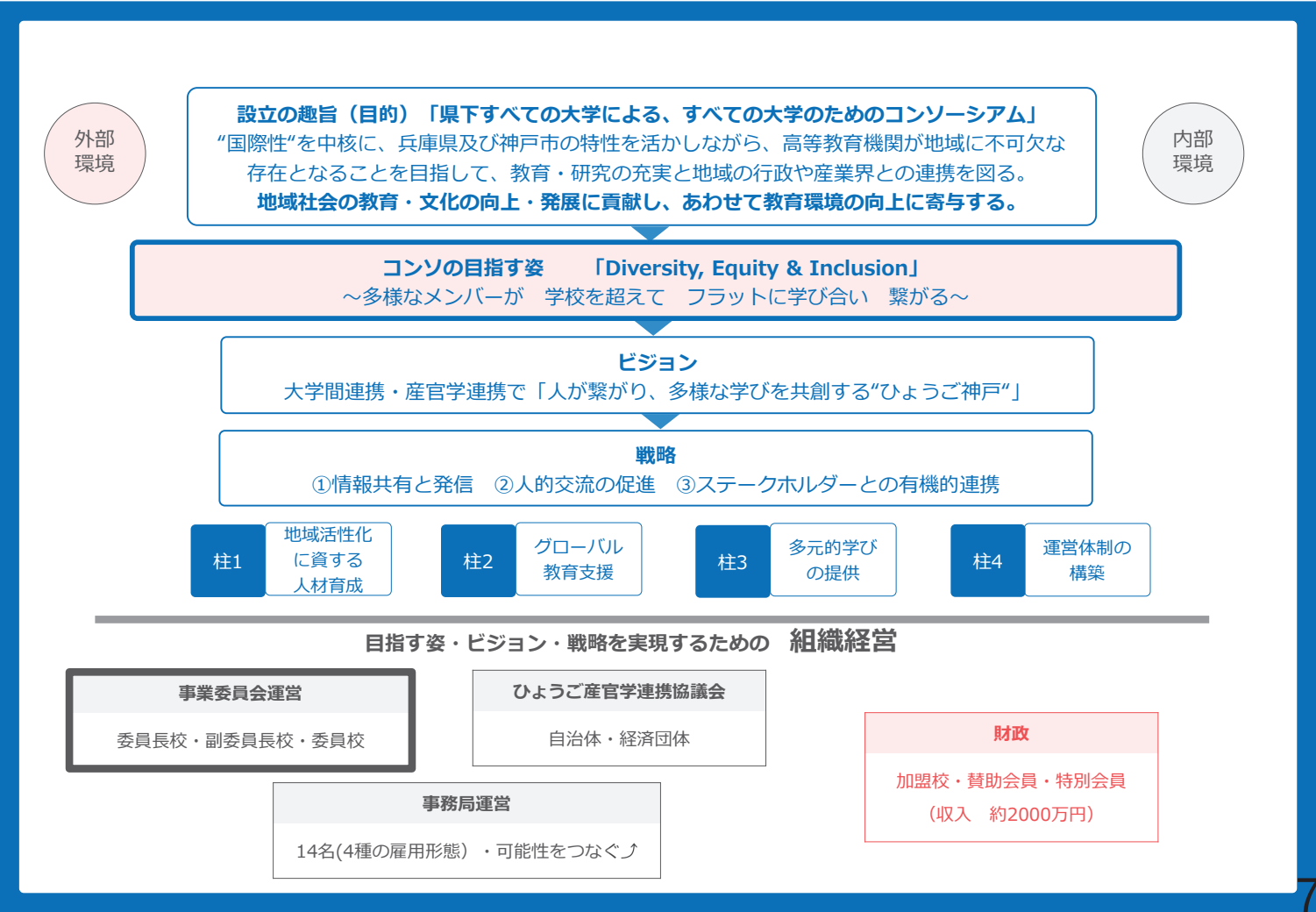
約11万人

趣旨

国際性を中核に、兵庫県の特性をいかし、教育水準の向上と地域振興に貢献

事業

国際交流、学生交流、教育連携、キャリア
高大連携、FD・SD事業を中心に、
大学間連携、産官学連携を展開



一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

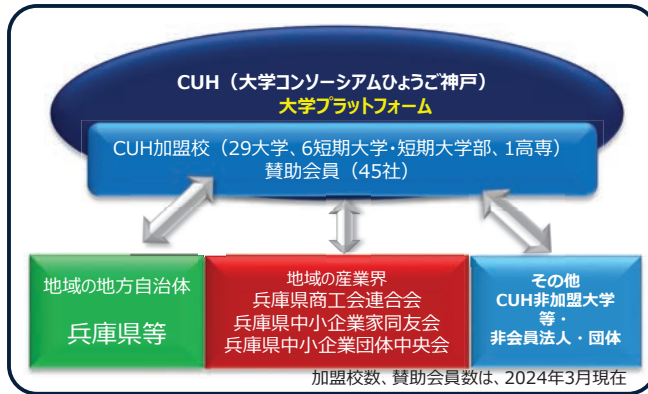
【基本方針】

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。
さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多様な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多様な教育活動に寄与する計画とする。

【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



【取組みの概要】

- 1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**
 - ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）
 - ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
 - ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
- 2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援**
 - ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
 - ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進
- 3. 県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供**
 - ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
 - ⑦ 大学間連携による多様な教育コースへの対応
 - ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
- 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築**
 - ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
 - ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

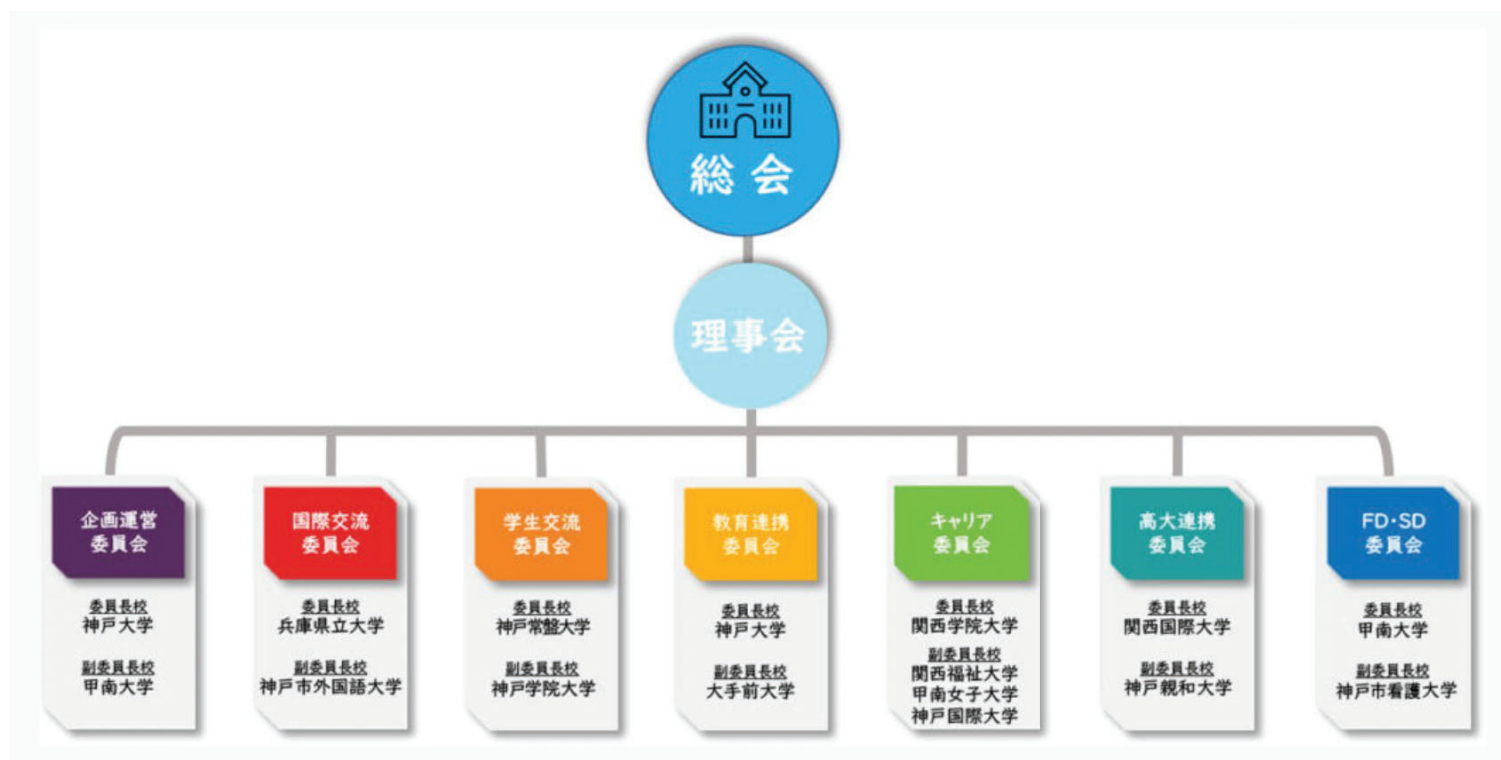
© Presentation Design

中長期計画Ⅱ期（2022年度～2026年度）の柱と課題 ＜2024年度＞

「4つの柱」に基づいて、「10課題・20取組」を7委員会（国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、キャリア、FD・SD、企画運営）において実施

柱	課題	取組	委員会
1 地域活性化に資する 人材育成のための連携	1 地域の活性化のため 県内企業への就職率の向上	取組1-1 「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プログラム	キャリア
		取組1-2 「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	キャリア
		取組1-3 県内企業・団体等の魅力を情報発信	キャリア
	2 県内大学と高等学校間の 連携による円滑な高大接続	取組1 大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」	高大連携
		取組2 加盟校の魅力を情報発信	高大連携
	3 大学の枠を超えた学生間の 交流・活動促進	取組1 テーマ型の学生交流プロジェクト「WILL BEプロジェクト」	学生交流
2 “ひょうご神戸”の 国際性を生かした グローバル教育支援	4 外国人留学生の受け入れ体制 の強化・定着促進	取組1-1 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	キャリア
		取組1-2 「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	キャリア
	5 外国人留学生と日本人学生等 の交流促進	取組1 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	国際交流
		取組2 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業	国際交流
	6 大学教職員の研修機会の提供 と交流の促進	取組1 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	FD・SD
		取組2 FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	FD・SD
3 県内大学の 教育・研究の質を 高める 多面的学びの提供	7 大学間連携による多様な 教育コースへの対応	取組1 単位互換事業	教育連携
		取組2 多様な学修機会の提供	教育連携
	8 県内大学を活用した 社会人の学びなおしの推進	取組1 リカレント教育の普及促進に向けた取組	企画運営
		取組2 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	企画運営
	9 大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成	取組1 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築	企画運営
		取組2 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	企画運営
4 県内大学が活性化 する 大学間連携組織 としての 運営体制の構築	10 県内大学が活性化する 事業運営体制の整備	取組1 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	企画運営

大学コンソーシアムひょうご神戸 組織図



加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

* 事業委員会の運営に関する申し合わせから抜粋

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

(1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。

(2) **国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。**

(3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。

(4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選択制】

① 選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。

② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・ 輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

2023年～2025年の事業委員会 委員長校・副委員長校

中長期計画		I 期	II 期					III 期
役員改選期		第3期	第4期		第5期		第6期	
事業委員会体制(案)		2年間	1年間	3年間(1年間+2年間)			2年間	
		2020・2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
国際交流委員会	委員長校	神戸大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学				
	副委員長校	神戸市外国語大学・神戸常盤大学	神戸市外国語大学	神戸市外国語大学				
学生交流委員会	委員長校	神戸親和女子大学	神戸常盤大学	神戸常盤大学				
	副委員長校	甲南大学	神戸親和女子大学	神戸学院大学★				
教育連携委員会	委員長校	兵庫県立大学	神戸大学	神戸大学				
	副委員長校	大手前大学・兵庫医療大学	大手前大学	大手前大学				
高大連携委員会	委員長校	関西国際大学		関西国際大学				
	副委員長校	神戸松蔭女子学院大学	甲南大学・神戸松蔭女子学院大学	神戸親和大学★				
キャリア委員会	委員長校	関西学院大学			関西学院大学			神戸学院大学★
	副委員長校	関西福祉・甲南女子大学・神戸国際大学			関西福祉大学・甲南女子大学・神戸国際大学			
FDSD委員会	委員長校	神戸学院大学			甲南大学★			神戸親和大学★
	副委員長校	兵庫大学・神戸薬科大学			神戸市看護大学★			

★変更大学

キャリア委員会、FD・SD委員会の輪番制について

任期	キャリア委員会	FD・SD委員会
第6期（2026-27）	神戸学院大学	神戸親和大学
第7期（2028-29）	甲南大学	関西学院大学
第8期（2030-31）	関西国際大学	神戸学院大学
第9期（2032-33）	神戸常盤大学	神戸市外国語大学
第10期（2034-35）	神戸市外国語大学	神戸常盤大学
第11期（2036-37）	兵庫県立大学	神戸市看護大学
第12期（2038-39）	神戸市看護大学	神戸大学
第13期（2040-41）	神戸大学	関西国際大学
第14期（2042-43）	神戸親和大学	兵庫県立大学

備考：第15期以降は、状況の変化も想定されるため、第14期の理事校で決定する。

委員長校	神戸常盤大学
副委員長校	神戸学院大学
委員校 (全:26校)	芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、甲南女子大学 神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学 神戸女子短期大学、神戸親和大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路大学 兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
取組1	＜テーマ型の学生交流プロジェクトの実施＞WILL BE プロジェクト
達成目標	各年参加者数50名以上
活動指標	参加加盟校数10校以上／年
取組2	＜学生発信ブランディング＞加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施
達成目標	情報公開数200取組以上
活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上 情報公開数40取組以上／年

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

・年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

課題③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
予算額	取組1	テーマ型の学生交流プロジェクト 「WILL BEプロジェクト」
	取組2-1	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」
		1,010,000円
		240,000円

期待される効果

他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

【取組1】学生が地域・企業との連携・協働を通じた様々な社会貢献活動に、地元企業や自大学以外の学生と一緒に参加することで地域の魅力、または課題を直に感じ、理解を深め、そして解決策を自発的に考える効果が期待できる。

【取組2】参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文章構成力等を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。

上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

【2024年度 学生交流委員会 事業計画(③取組1-1)】

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
達成目標	参加学生数30名以上		
課題を解決する取組概要	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉①地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動		
活動指標	参加団体5団体以上。個人参加15名以上。		
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)	
◆地域の「子育て支援拠点」や「子どもの居場所」での学生ボランティア活動 ＜内容＞ 1、加盟校が連携して、学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、学修成果を発表できる場として、各大学が設置する施設を他大学学生にも活動先の一つとして開放・提供する。自学のプログラムやフィールドを加盟校の他大学の学生にも開放することで、学生間の交流を促進する。 2、行政・公的団体等が設置する地域の「子どもの居場所」も対象とする。 ※加盟校で拠点を開放いただける大学があれば、随時 活動場所を追加し、学生に周知する。 【開放施設】 ①ときわんモトロク(神戸市中央区・元町六丁目商店街) ②ときわんノエスタ・てらこやノエスタ(神戸市兵庫区・ノエビアスタジアム神戸) ③ときわんクニヅカ・てらこや(神戸市長田区・アスタくにづか4番館) ④あかしフリースペース トロッコ(明石市) ＜開催時期＞2024年5月下旬～2025年3月(予定) ＜募集対象＞加盟校学生 ※団体・個人問わず			
達成目標に対する実績			
活動指標に対する実績			
自己評価基準:対到達目標 ※		—	
自己評価基準:対継続性 ※		—	

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
1,010,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
---	--	---	-------------	--

【2024年度 学生交流委員会 事業計画(③取組1-2)】

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
達成目標	参加学生数10名以上		
課題を解決する 取組概要	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉②「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 (正式名:ナガセケムテックスプレゼンツ 「ヴィクトリーナ姫路・大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト」)		
活動指標	参加学生のチーム活動／月1回以上(活動期間中)		
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)	
◆ナガセケムテックスプレゼンツ「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 地域の活性化に資する人材育成のためのプログラム として、地域スポーツ振興をテーマに企画実施する。 ＜内容＞ 姫路を拠点に活動するプロバレーボールチーム「ヴィ クトリーナ姫路」が抱える事業課題について、 ゼミ単位もしくは大学の垣根を越えて構成した学生プ ロジェクトチームで、課題解決につながる企画を立案。 ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、そ の企画を学生が主体となってホームゲームで実施し、 その効果を検証する。 学生にとっては、大学講義等で学んだことを実践する 機会となり、深みのある学びが期待できる。 また、本事業を通じて、社会人として求められるスキル であるマーケティング思考やプロジェクトマネジメントを 習得するきっかけとする。 ＜活動期間＞2024年8月～2025年1月(予定) ＜募集対象＞加盟校学生・ゼミ			
達成目標に対する実績			
活動指標に対する実績			
自己評価基準:対到達目標 ※		—	
自己評価基準:対継続性 ※		—	

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
1,010,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
---	--	---	-------------	--

【2024年度 学生交流委員会 事業計画(③取組1-3)】

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	
達成目標	参加学生数10名以上	
課題を解決する 取組概要	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 <WILL BE プロジェクト>③兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project ～2025年大阪・関西万博に向けて～兵庫県「ひょうごフィールドバビリオン」との連携～	
活動指標	参加学生のチーム活動／月1回以上(活動期間中)	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
◆兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project ～2025年大阪・関西万博に向けて～兵庫県「ひょうごフィールドバビリオン」との連携について 兵庫県では2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」に向けて「兵庫県万博推進室」を設置し、「ひょうごフィールドバビリオン」構想のもと、県内団体から「SDGs体験型地域プログラム」を公募して、関西に訪れる国内外のツーリストを兵庫県に誘致する観光施策をスタートしている。 学生交流委員会では「大阪・関西万博」を学生交流や学生の教育機会として位置づけ、自治体・企業・地域団体等と連携して、「兵庫県の大学生が兵庫県の魅力を自ら体感し、その魅力を発信する」取組を進める。 【内容】昨年度より、兵庫五国(5地域10市)の「ひょうごフィールドバビリオンSDGs体験型地域プログラム」を行政・団体等と連携しながら、学生が5チームに分かれてモニター体験を行ってきた。 今年度は、学生たちが各地域での学修成果を、兵庫県立兵庫津ミュージアム(神戸市)の企画展「万博展」の企画の一つとして展示、成果発表を行う。ミュージアムの指導のもと、観光振興・地域貢献の観点から、学生が展示物を計画・制作し、会期中は、子ども向けのワークショップ等も展開予定。 【活動期間】2024年4月1日～10月6日(予定) ①“兵庫の魅力”発信のための紹介パネル・映像等の企画・制作(5月～6月) ②「ひょうごフィールドバビリオンSDGs体験型地域プログラム」課題解決プラン・プレゼンテーション(8月31日) ③兵庫県立兵庫津ミュージアム「万博展」での学生プロジェクト成果展示(7月20日～9月23日) ④最終報告会(10月6日) 【対象エリア】兵庫五国(5エリア) ・摂津(尼崎市・川西市) ・播磨(多可町・西脇市) ・但馬(豊岡市) ・丹波(丹波市・丹波篠山市) ・淡路(淡路市・南あわじ市) 【共催】兵庫県立兵庫津ミュージアム		
達成目標に対する実績		
活動指標に対する実績		
自己評価基準:対到達目標 ※		—
自己評価基準:対継続性 ※		—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
1,010,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※
自己評価基準:対到達目標
4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

※
自己評価基準:対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

【2024年度 学生交流委員会 事業計画(③取組2)】

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
達成目標	情報公開数200取組以上		
課題を解決する取組概要	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施		
活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年		
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)	
◆地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例の紹介 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに、加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を公開する。また必要に応じて、様々なメディア等への告知を検討・計画する。 <内容> 加盟校からの情報提供をもとに、地域で若者が活躍する姿を周知することにより、加盟校による地域の活性化のための貢献活動に取り組む。			
達成目標に対する実績			
活動指標に対する実績			
自己評価基準:対到達目標 ※		—	
自己評価基準:対継続性 ※		—	

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
240,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
自己評価基準:対到達目標				

【2024年度 学生交流委員会 事業予算】

(単位:円)

		予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
			取組1		取組2-1			
			WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」		学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」			
			内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額
収入	会費収入	1,350,000		1,010,000		240,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	1,350,000	1,010,000		240,000		100,000	
支出	会議費	110,000	交流会・反省会	100,000			会議費	10,000
	旅費交通費	740,000	交通費・昼食費	700,000	交通費・昼食費	30,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	20,000			通信費	10,000	通信費	10,000
	消耗品費	20,000	消耗品	10,000			消耗品	10,000
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	0						
	光熱水料費	0						
	賃借料	0						
	保険料	0						
	謝金	250,000	講師等謝金	50,000	謝金・原稿料等	200,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	30,000					振込手数料	30,000
	諸会費	150,000	ブース等出店料	150,000				
	委託費	30,000					各プログラムHPIに係る 予備費	30,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
	雑費	0						
	計	1,350,000	1,010,000		240,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

2024 年 5 月

大学コンソーシアムひょうご神戸

加盟校 各位

学生交流委員会委員長校

神戸常盤大学 工藤 達也

「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施」について（寄稿依頼）

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、学生交流委員会事業の活動にご協力いただき、感謝申し上げます。本委員会では、大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」を推進すべく、本年度より「取組課題③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」の取組を通年で進めております。

つきましては、2024 年度事業計画「取組 2 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施」（添付資料 1）に関して、各校より情報提供いただきたくご依頼申し上げます。

具体的には、各校よりご提供いただいた「地域の活性化に関わる学生の取組事例」を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページ上にて広報します。広く一般の方々に地域で加盟校の学生たちが活躍する姿を伝え、各校の地域貢献活動の促進に寄与したく存じます。

何卒、本事業にご理解をいただき、貴学における「学生の地域活性化に関わる取組」につきまして、ご紹介いただきますようお願いいたします。

記

1、取組 2「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施」について

「地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例」を「地域で輝く学生」と題して、加盟校からの寄稿文を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページにて紹介します。※通年で寄稿受付、随時掲載。

<参考:掲載例> <https://consortium-hyogo.jp/exchange/04-2/>

【依頼内容】1 校につき 1～3 取組を紹介。

貴学における「地域の活性化に関わる学生の取組事例」について、ご紹介ください。

添付のフォーマット（添付資料 2）を参考に作成ください。

（掲載内容）

- ・タイトル（キャッチコピー・活動名など）
- ・大学名
- ・文字数：600 字～2000 字程度（目安・内容により調整可）
- ・取組の概要／目的／実施の成果／今後の展望／問い合わせ先／URL など
- ・写真 1～5 点。各写真に関する簡単な説明（HP 掲載時に選択する場合があります）

【掲載回数】2022年度～2026年度に毎年実施。原則として、2024年度は次の通り進めます。

- ・1年で合計40取組を紹介。
- ・1校につき1回～2回掲載予定。希望により、年3回以上の掲載も可。
- ・原稿は随時受付。原則、寄稿順に掲載します。

【寄稿・締切日】毎月1日、15日

- ・当月または翌月に、掲載します。
- ・特に、掲載時期の希望がある場合は、相談に応じます。

【掲載手続きについて】

下記投稿フォームより、原稿（記入用フォーマットあり・完全原稿）と写真（3～5枚）をお送りください。

■「地域で輝く学生」投稿フォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S43716108/>

2、加盟校公式サイトでの地域連携・学生の活動等がわかる情報一覧について

各加盟校の公式サイトでの地域連携・社会連携における学生の活動等がわかる情報を大学コンソーシアムひょうご神戸HP上で、各校からのNote寄稿文と併記で、掲載する予定です。

「～地域・社会での交流～ 学生の地域での活動がわかる！

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 情報一覧」

<https://consortium-hyogo.jp/exchange/05-2/>

* 内容・URL 変更等があれば、下記までお伝えください。

* 掲載内容等に関するご質問は、下記までお気軽にご相談ください。

< 本件に関する提出先・問い合わせ先 >

大学コンソーシアムひょうご神戸 中水かおる／谷本啓吾

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8 兵庫国際交流会館1F

TEL : 078-271-0233 MAIL : conso@consortium-hyogo.jp

以上

大学コンソーシアムひょうご神戸 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施
加盟校記入用フォーマット

[illegible]

- ・文字数が多い場合は、複数ページになっても受け付けます
- ・特に文体は問いません。「です」「ます」調で、親しみがわく文体での情報提供スタイルが地域の方には、貴学学生の活動が伝わりやすいかもしれません。
- ・学生が記載する場合は、貴学にて掲載内容を確認の上、本文提供ください。

以上、ご不明点あれば、下記までお問い合わせください。

＜問い合わせ先＞大学コンソーシアムひょうご神戸

掲載予定 URL <https://consortium-hyogo.jp/exchange/04-2/>

委員長校 : 神戸常盤大学

副委員長校: 神戸学院大学

委員校: 芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学
甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸市看護大学
神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学
神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部
姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計27校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

・年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容>

取組課題③に対する「個別取組」は、下記の通り。

【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクト全体を「WILL BEプロジェクト」の総称で位置付け、実施する(例: 地元企業・団体等と連携した取組など)。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報では、コンソHPへの記事掲載を計画・実施する。掲載文等を考えることで自主性や文章構成力を高めることを目的とする。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。併せてコンソの認知度を高める

また事業の実施体制として、ユニット制での実施を継続して実施する。上記2事業に基づく2ユニットのいずれにも全委員校が参加し、ユニットごとに企画立案から多くの加盟校が主体的に参画することにより、学生交流の実質化に繋げる。

<期待される効果>

他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

【取組1】

学生が地域・企業との連携・協働を通じた様々な社会貢献活動に、地元企業や自大学以外の学生と一緒に参加することで地域の魅力、または課題を直に感じ、理解を深め、そして解決策を自発的に考える効果が期待できる。

【取組2】

参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文章構成力等を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。

上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

課題③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		予算額
取組1	WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」	1,010,000円
取組2-1	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	240,000円
取組2-2	学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」	1,000,000円 * 受託事業収入

【2023年度 学生交流委員会 事業報告(③取組1-1)】(案)

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上			
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組1-1】	参加学生数30名以上			
課題を解決する 取組概要 【③取組1-1】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉①地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動			
活動指標 【③取組1-1】	参加団体5団体以上。個人参加15名以上。			
内容 (結果)	「地域子育て支援拠点」や「こどもの居場所」でのボランティア活動 加盟校が連携して、加盟校学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、学修成果を活かせる場を提供した。地域社会に根差したボランティア活動を行うことを通じて、学生が子どもをめぐる社会課題についても視野を広げ、専門分野や所属大学の枠を超えた学生交流も促した。 実施期間：2023年5月～2024年3月 活動先：4拠点 ①ときわんモトロク(中央区・元町六丁目商店街) ②ときわんノエスタ・てらこやノエスタ(兵庫区・ノエビアスタジアム神戸) ③ときわんクニヅカ・てらこや(長田区・アスタくにつか4番館) ④あかしフリースペース トロッコ(兵庫県明石市天文町1-4-12) ※①～③は、神戸常盤大学が設置する「子育て支援センター」施設。 ※④は、明石市が設置、「B&G財団」が支援する「子ども第3の居場所」施設。 参加学生数：延べ37名 ※①②③ときわん：延べ18名〈登録者5校・7名/関西学院大学(1)、神戸学院大学(1)、神戸市看護大学(1)、神戸女子大学(3)、兵庫県立大学(1)〉 ※④子どもの第3の居場所：延べ19名〈登録者4校・7名/神戸学院大学(1)、神戸女子大学(1)、兵庫大学(2)、兵庫県立大学(3)〉			
新しい試み等 (事業計画に記載)	本事業を2023年10月より、公益財団法人日本財団ボランティアセンターとの協働事業として上限40万円の助成を得て学生がボランティア活動を継続的に従事できる環境を整えた。また、新たに明石市が不登校児支援のために設置する子どもの居場所「あかしフリースペース トロッコ」でのボランティア活動を公益財団法人B&G財団との連携で開始し、地域で学生が活動できる拠点を拡充できた。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	1,010,000円	1,036,650円	-26,650円	※取組1-1、1-2、1-3の合計
自己評価	【対到達目標】	2	【対継続性】	3
	前期(5月～9月)において20人以上の申し込みがあり、地域でのボランティア活動に対する学生のニーズは一定数あったといえる。ボランティアが初めての学生も、第一歩を踏み出す場となっている。また、一回限りではなく、複数回継続的に参加する学生が増加傾向にある。定期的な発信(公募)をすることで、参加者の増加は期待できるため、本プログラムは継続しても良いと考える。			
■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った ■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき				
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	地域において、加盟校や行政が有する子育て支援施設や子どもの居場所とコンソーシアムが連携して、学生が日常生活の延長線上でボランティア活動ができる仕組みができていることは評価できる。また、外部資金を活用することで、学生の活動交通費等を手当し、学生の経済的事由での負担を軽減できている点も評価できる。今後は、この取組の認知度を高め、活動が活発化することを期待する。			

【2023年度 学生交流委員会 事業報告(③取組1-2)】(案)

【③取組1】達成目標		各年参加者数50名以上	
【③取組1】活動指標		参加加盟校数10校以上/年	
課題③		大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	
達成目標【③取組1-2】		参加学生数10名以上	
課題を解決する取組概要【③取組1-2】		テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 <WILL BE プロジェクト>②「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 (正式名:ナガセケムテックスプレゼンツ 「ヴィクトリーナ姫路・大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト」)	
活動指標【③取組1-2】		参加学生のチーム活動/月1回以上(活動期間中)	
内容(結果)		◆「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 地域の活性化に資する人材育成のためのプログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに企画実施。バレーボールVリーグに所属する「ヴィクトリーナ姫路」が抱える事業課題について、ゼミ単位もしくは大学の垣根を越えて構成した学生プロジェクトチームで、課題解決につながる企画を立案し、ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲームで実践し、その効果を検証する。 学生にとっては、大学講義等で学んだことを実践する機会となり、深みのある学びが期待できる。また、本事業を通じて、社会人として求められるスキルであるマーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得するきっかけとする。 活動期間:2023年8月~2024年1月 ・2023年8月5日(土):オリエンテーション(会場:神戸学院大学 神戸三宮サテライト) ・2023年8月6日(日)~10月6日(金):企画実施準備(チームごとに活動) ・2023年10月7日(土):企画プレゼン大会(会場:イーグレ姫路) ・2023年10月14日(土):学生チームの企画に対して実践に向けての課題提案(オンライン) ・2023年10月~11月:企画実施準備(オンラインワークショップ計6回開催) ・2023年10月28日(土):現地視察(会場:たつの市立龍野体育館) ・2023年12月23日(土)・24日(日):企画実地(会場:ヴィクトリーナウイング体育館) ・2024年1月14日(日):結果発表・表彰式 参加学生数:延べ190名<登録者8校・45名/関西福祉大学(5)・関西学院大学(2)・甲南大学(1)・神戸大学(1)・神戸学院大学(12)・神戸親和大学(7)・兵庫県立大学(5)・流通科学大学(12)> 参加教職員数:延べ16名<関西福祉大学(5)・神戸学院大学(4)・神戸親和大学(4)・流通科学大学(3)> 企業・団体参加者数:延べ46名(参加者総計252名)。 コンテスト結果: ・最優秀賞(第1位):百UPチーム(神戸学院大学)・ヴィクトリーナ姫路公式LINEにさまざまな機能を実装 ・優秀賞(第2位):ぐりとあきチーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)・オリジナルうちわを販売 ・ナガセケムテックス賞(第3位):高松ゼミチーム(神戸親和大学)・オリジナルパーカーを販売 ・ヴィクトリーナ姫路賞(参加賞):カンブクーナ(関西福祉大学)、マナーの虎(流通科学大学)、山口ゼミ(流通科学大学)、坪田組(神戸学院大学)、コンソメ(大学コンソーシアムひょうご神戸)	
新しい試み等(事業計画に記載)		活動期間中、ビジネスコンテストを実施するだけでなく、学生運営スタッフによる、学生同士の交流が促進する取り組みを実施。	
事業収支		収入	支出
		1,010,000円	1,036,650円
		収支	備考
		-26,650円	※取組1-1、1-2、1-3の合計
自己評価		【対到達目標】	【対継続性】
		3	4
		2年目を迎えるプロジェクトとして、課題提供をいただく企業様(ヴィクトリーナ姫路)には、学生の企画プランの審査に加えて、企画・立案の段階から、学生に実践的な助言をいただく仕組みを構築するなど、連携体制の充実を図りながら、事業運営ができた。本プログラムは計画通り進めることができおり、継続すべきと考える。	
■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)		地元企業・協賛企業との連携による本プロジェクトは継続することにより、プログラムの内容も深まり、学生自身の成長や地元企業理解に寄与していることがうかがえる。今後も、地元企業等との連携を図りながら、人材育成プログラムとしての本コンテストを継続することを期待する。	

【2023年度 学生交流委員会 事業報告(③取組1-3)】(案)

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上		
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上/年□		
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
達成目標【③取組1-2】	参加学生数10名以上		
課題を解決する取組概要【③取組1-2】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉③兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project ～2025年大阪 関西万博に向けて～兵庫県「ひょうごフィールドバビリオン」との連携～		
活動指標【③取組1-2】	参加学生のチーム活動／月1回以上（活動期間中）		
内容（結果）	◆兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project ～2025年大阪・関西万博に向けて～兵庫県「ひょうごフィールドバビリオン」との連携について 兵庫県では2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」に向けて「兵庫県万博推進室」を設置し、「ひょうごフィールドバビリオン」構想のもとに、県内団体から「SDGs体験型地域プログラム」を公募して、関西を訪れる国内外のツーリストを兵庫県に誘致する観光施策をスタートしている。 本企画では、兵庫県が推進する「ひょうごフィールドバビリオン」構想のもと、地元自治体・企業・団体等と連携し、国家プロジェクトの一つでもある「大阪・関西万博」を学生交流や学生の教育機会に活用する。 万博終了後も「兵庫県の大学生が兵庫県の魅力を自ら体感し、その魅力を発信する」経験を通じて、学生生活の充実へとつながることを目指す。 ①キックオフイベント「大阪・関西万博2025 機運醸成フォーラム」 日時：2023年12月10日(日)13:00～16:00 会場：兵庫県立兵庫津ミュージアム 内容：第1部「基調講演」 ①：万博って何？～大阪・関西万博2025の開催に向けて～ 講師：川村 泰正氏(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーション局地域・観光部審議役) ②：ひょうごフィールドバビリオンの展開について 講師：三宅 隆之氏(兵庫県企画部万博推進局長) ③：観光立国・日本が目指すべきツーリストシップ溢れる旅行の提言 講師：田中 千恵子氏(一般社団法人ツーリストシップ代表理事) 第2部「パネルディスカッション」 テーマ：万博開催波及効果としての地域観光需要の活性化と課題について 参加者：総計34名 学生…5校9名(うち加盟校4校8名・非加盟校1校1名) (加盟校内訳)関西学院大学(1)・神戸常盤大学(5)・甲南大学(1)・兵庫県立大学(1) 教職員…2校2名(神戸女学院大学(1)・神戸親和大学(1)) 行政・企業・団体…7社10名 (内訳)兵庫県(4)・あまがさき観光局(1)・ツーリストシップ代表理事(1)・ 兵庫津ミュージアムひょうごBeyond 2025 プロジェクトチーム(1)・多可町役場(1)・ 兵庫県立コウノトリの郷公園(1)・有限会社玉木新雄(1) 大学コンソーシアムひょうご神戸事務局…4名、一般…9名 ②兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project 活動期間：2024年2月～2024年9月 兵庫五国の魅力を発見するモニターツアーを実施。2024年夏にツアーでの体験の成果を「兵庫県立兵庫津ミュージアム」の「万博展(仮称)」で展示・案内する予定。 ＜説明会・講習会＞ ・2月27日・28日オンライン説明会 ・3/5(火)・12日講習会&グループワーク(兵庫県立兵庫津ミュージアム) ＜現地モニターツアー＞ A)播磨(多可町&西脇市)3/15(金)＋4/14(日) 内容：多可の森健康ウォーキング、播州織工場見学・ものづくり体験 B)但馬(豊岡市)日程：3/19(火) 内容：季節の野菜収穫体験、コウノトリの観察と環境学習 C)丹波(丹波市&丹波篠山市)日程：3/27(水) 内容：丹波サイクリング体験、丹波立杭焼の陶芸体験 D)摂津(尼崎市&川西市)日程：4/1(月) 内容：尼崎運河クルーズ&釣り体験、「日本一の里山」を巡るウォーキング&茶道体験 E)淡路(淡路市・南あわじ市)日程：4/5(金) 内容：線香工場見学・香り作り体験、淡路たまねぎ収穫体験、慶野松原・根上り松の保存活動 参加学生数：延べ39名(登録者10校28名/芦屋大学(1)・関西学院大学(2)・甲南大学(1)・神戸大学(1)・神戸海星女子学院大学(1)・神戸女学院大学(4)・神戸常盤大学(1)・兵庫県立大学(2)・神戸学院大学(1)・流通科学大学(14)) 教職員参加者数：のべ3名(流通科学大学(3))、企業団体参加者数：のべ23名、大学コンソーシアムひょうご神戸事務局のべ7名(参加者総計：72名)		
新しい試み等(事業計画に記載)	2023年度から2024年度にかけての新たな取り組みとなる。		
事業収支	収入	支出	収支
	1,010,000円	1,036,650円	-26,650円 ※取組1-1、1-2、1-3の合計
自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】
	—		
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		
■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき		
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	—		

【2023年度 学生交流委員会 事業報告(③取組2-1)】(案)

【③取組2】達成目標	情報公開数200取組以上			
【③取組2】活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組2-1】	情報公開数200取組以上			
課題を解決する 取組概要 【③取組2-1】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施			
活動指標 【③取組2-1】	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
内容 (結果)	◆地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例の紹介 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに、加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を公開した。また必要に応じて、様々なメディア等に掲出。 地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化・地域貢献に寄与することを目指す。 大学コンソーシアムひょうご神戸HP(取組事例) ・「地域・社会での交流～学生の地域での活動がわかる～」 加盟校の地域連携・社会連携情報リンクを集約、38校掲載 ・「note」記事「地域で輝く学生」に25取組掲載、学校別に集約 メディア掲載 ・神戸新聞2024年1月21日付「ヴィクトリーナ姫路のファン拡大策、神院大の企画が最優秀賞に10大学参加、ホーム戦で実践も」(ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト取材記事) ・神戸新聞2024年3月25日付「体験型観光で訪日客を兵庫に 万博に向け学生プロジェクト講習会」(兵庫の魅力Student Treasure Hunt Project取材記事)			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	240,000円	96,919円	143,081円	
自己評価	【対到達目標】	2	【対継続性】	3
	学生の地域活動は、活動内容が多様であるがゆえに、加盟校担当者によっては情報の取捨選択が難しい場合がある。しかし、地域人材として加盟校学生が重要な役割を果たしていることを広く社会に広報する活動は、人材育成の観点でも重要であるため、情報提供しやすいテーマや情報提供の仕組み等を工夫することで、本プログラムは継続しても良いと考える。			
■自己評価基準 (対到達目標)		■自己評価基準 (対継続性)		4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	コンソHP上にて「地域で輝く学生」と題して、学生交流事業「WILL BEプロジェクト」の活動PRに加え、各加盟校の特長ある地域活動を通じて、コンソーシアム全体の認知度を高める取り組みは重要である。次年度も引き続き、広報活動の活発化に取り組んでいただきたい。			

【2023年度 学生交流委員会 事業報告(③取組2-2)】(案)

【③取組2】達成目標	情報公開数200取組以上			
【③取組2】活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組2-2】	参加加盟校数10校以上/年			
課題を解決する 取組概要 【③取組2-2】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施 学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」			
活動指標 【③取組2-2】	参加団体1団体以上。個人参加20名以上。			
内容 (結果)	◆県民向け防災施策PR動画作成(受託業務) 近年頻発する豪雨災害などの自然災害や、今後発生するとされている南海トラフ地震への対策や備えについて、学生たちが正しい認識を持つことが、自分や家族、友人の命を守り、被害の軽減につながる。 兵庫県においては、災害時に誰一人取り残さない各種施策を展開しており、今後もより一層の充実を図る必要がある。また、防災に対して難しい印象を持つ若者や学生が近年の災害や兵庫県の防災施策について研究し、みんなが助け合う意識づくりや防災リテラシー向上に繋がるような、学生目線のわかりやすい防災施策PR動画を作成する。 ※主に県庁見学や研修等で来庁の一般県民を対象とし、防災イベント等での上映も想定 内容: ①(災害や防災施策の現状について、学生・関係者等へ)ヒアリング調査、企画。 ②シナリオ作成(絵コンテ、ロケハン含む)。 ③動画撮影(出演含む)。 ④編集作業(ナレーション等含む)。 ※ 県庁見学は小学生以上対象のため、小学生から大人まで理解できる内容とし、字幕つきでユニバーサル対応の映像を作成した。 2024年3月11日に兵庫県公式「ひょうごチャンネル(兵庫県インターネット放送局)」に掲載 https://hyogo-ch.jp/video/5177/ 【スケジュール】 5～6月 : 学生募集、調査、企画 6～7月 : シナリオ、絵コンテ作成 7～9月 : ロケハン、撮影 9～11月 : 編集 一般公開: 2024年3月11日 参加学生: 7校18名 関西国際大学(10)、関西学院大学(1)、神戸学院大学(1)、神戸市看護大学(2)、神戸女学院大学(1)、神戸常盤大学(1)、兵庫県立大学(2) > 参加教職員: 1校2名 <神戸常盤大学(2)> 企業: 1名			
新しい試み等 (事業計画に記載)	今年度、兵庫県より初めて業務委託された新しい試みである。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	999,900円	999,900円	0円	
自己評価	【対到達目標】	2	【対継続性】	3
	学生目線のわかりやすい防災施策PR動画を作成すべく、約半年間の活動期間中、学生たちは災害を自分事として考える経験を積み重ねた。阪神・淡路大震災や防災について学び、ミーティングを重ねながら、学生自身が動画コンセプト・脚本・動画出演を行うなど、12月末の完成に向けて、本プログラムは予定通り、進めることができています。なお、本プログラムは、兵庫県からの単年度の委託業務のため継続はない。			
■自己評価基準 (対到達目標)	4: 当初計画を上回って達成 3: 当初計画を達成 2: 当初計画をやや下回った 1: 当初計画を下回った		■自己評価基準 (対継続性)	
			4: 本プログラムは継続すべき 3: 本プログラムは継続しても良い 2: 本プログラムの継続には改善が必要 1: 本プログラムは中止すべき	
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	阪神・淡路大震災を経験したコンソーシアムとして、震災を知らない世代の加盟校学生たちが、兵庫県の公式の防災啓発動画を作成することは貴重な機会であり、意義のある活動であったといえる。今後も機会があれば、震災の記憶の継承ならびに、頻発する自然災害に備えることができる学生の育成を期待する。			

2023年度 学生交流委員会 事業決算(案)

(単位:円)

		予算額	決算額	各プログラム 予算・決算									委員会 予算・決算			
				取組1			取組2-1			取組2-2						
				WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」			学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」			学生発信ブランディング 「大学関連機組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」						
				内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	
収入	会費収入	1,350,000	1,233,209		1,010,000	1,036,650		240,000	96,919						100,000	99,640
	助成事業収入	0	0													
	受託事業収入	1,000,000	999,900							兵庫県危機管理部署委託業務	1,000,000	999,900				
	プログラム収入	0	0													
	雑収入	0	0													
	展入金	0	0													
	計	2,350,000	2,233,109		1,010,000	1,036,650		240,000	96,919		1,000,000	999,900		100,000	99,640	
支出	会議費	120,000	5,124	交流会・反省会	100,000	0				会議費	10,000	0	会議費	10,000	5,124	
	旅費交通費	830,000	690,790	交通費・昼食費	700,000	597,000	交通費・昼食費	30,000	0	交通費・昼食費	90,000	54,460	旅費交通費	10,000	39,330	
	通信運搬費	70,000	27,288				通信費	10,000	19,700	通信費	50,000	196	通信費	10,000	7,392	
	消耗品費	260,000	285,392	消耗品	10,000	1,650	消耗品	0	8,999	消耗品	240,000	234,429	消耗品	10,000	40,314	
	新聞図書費	10,000	0							参考図書	10,000	0				
	印刷製本費	50,000	160							コピー代	50,000	160				
	光熱水料費	0	0													
	賃借料	0	45,000	会場費	0	45,000										
	保険料	0	0													
	謝金	600,000	474,420	講師等謝金	50,000	393,000	謝金・原稿料等	200,000	68,220	講師等謝金	350,000	13,200				
	租税公課	0	0													
	支払手数料	30,000	11,935							振込手数料	0	4,455	振込手数料	30,000	7,480	
	諸会費	150,000	0	ブース等出店料	150,000	0										
	委託費	230,000	693,000							製作費等	200,000	693,000	各プログラムHPIに係る 予備費	30,000		
	人件費	0	0													
	接待交際費	0	0													
	支払支援金	0	0													
	雑費	0	0													
		計	2,350,000	2,233,109		1,010,000	1,036,650		240,000	96,919		1,000,000	999,900		100,000	99,640

収入－支出	116,891
-------	---------



ナガセケムテックス株式会社 presents ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸 「スポーツビジネスコンテスト2023」開催報告

2024.2.1 株式会社立成社

開催目的

1

スポーツビジネスを志す学生に実践という学びの場を提供する

ヴィクトリーナ姫路では、スポーツ庁による「スポーツ経営人財の育成・活用」の方針を受けて、これからのスポーツ産業を担う若い人材の育成を行います。また本事業は、SDGs（持続可能な開発目標）の「目標4：質の高い教育をみんなに」、「目標8：働きがいも経済成長も」につながる事業として開催します。

ヴィクトリーナ姫路をフィールドに、座学・実践の双方をバランスよく学ぶ機会を提供し、参加学生のビジネススキルアップを通じて、本事業から、スポーツ経営人材を多数輩出できるよう貢献します。

参加者（学生）による習得を想定するスキル

- ▼マーケティング思考
- ▼プロジェクトマネジメント

これまで学んできたインプット（学び）を、アウトプット（実践）する機会とします。

ナガセテムテックス株式会社 presents ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト 2023

■主催（3社共催）

ヴィクトリーナ姫路（株式会社姫路ヴィクトリーナ）
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
株式会社立成社

■事務局

株式会社立成社

■協賛

ナガセテムテックス株式会社



■募集対象・実施期間

* 日程はすべて現時点での予定です

①運営スタッフ

- ・対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- ・内容：本事業の事務局スタッフとして、運営に携わって頂く。
- ・募集期間：2023年6月16日～7月15日
- ・活動期間：2023年8月1日～2024年1月13日
- ・募集数：最大10名

②企画参加者

- ・対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- ・内容：ヴィクトリーナ姫路の事業課題に対してプロジェクトチームで企画立案と実践を行う。
- ・募集期間：2023年6月16日～7月15日
- ・活動期間：2022年8月5日～2024年1月13日
- ・募集数：10名（5名×2チーム）

③企画参加大学

- ・対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 大学ゼミ
- ・内容：ヴィクトリーナ姫路の事業課題に対して大学ゼミで企画立案と実践を行う。
- ・募集期間：2023年6月16日～7月15日
- ・活動期間：2023年8月5日～2024年1月13日
- ・募集数：6チーム

参加学生募集チラシ

スポーツで得意を磨き上げよう！ スポーツビジネスコンテストに参加しよう！

大学コンソーシアムひょうご神戸 参加学生募集！！

大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会

■コンテスト参加

内容：ヴィクトリーナ姫路の事業課題に対して、企画立案と実践を行います
対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
参加方法：いずれかをお選びください

①個人応募：個人で参加。集まった他大学の学生と一緒にチームを組みます。
②ゼミ応募：所属大学のゼミ単位で参加。先生と相談の上、ご応募ください。

■募集数

①個人応募：15名程度 ②ゼミ応募：6ゼミ程度

■運営参加

内容：スポーツビジネスコンテストの事務局スタッフとして、運営にあずかります
対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
募集数：10名

募集期間 2023年6/30（日）まで
活動期間 2023年8/5（土）～11/13（土）まで

上位3チームに賞金あり

兵庫の大学生による「WILL BEプロジェクト」
ヴィクトリーナ姫路
スポーツビジネスコンテスト

お問い合わせ
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
Mail: info@consortium-hyogo.jp
Tel: 078-271-0233 (9:00～17:00)

参加希望者はこちらの
フォームからお申し込みを！

「スポーツビジネスコンテスト」の流れ

大学の講義などで学んだことを実践できる！
マーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得するきっかけに！
仲間と切磋琢磨できるチャンス！

本プロジェクトでは、大学ゼミ単位でのプロジェクトチーム、あるいは個人参加者5～8名程度で大学所属のプロジェクトチームを組んで参加します。オリエンテーションにて、ヴィクトリーナ姫路が事業課題を提示し各チームはその課題を解決する企画を提出します（企画書として、1チームあたり10万円を上限に、会場までの交通費は各自で負担ください）。企画書提出後、ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってチームゲームで実践し、その結果を発表します。実践終了後、結果発表会や実践発表を優先して頂きます。審査員は、審査基準である創造性、企画性、継続性、プレゼンテーションの4項目を審査し、審査結果を基に最優秀賞ほか各賞を決定します。

■スケジュール

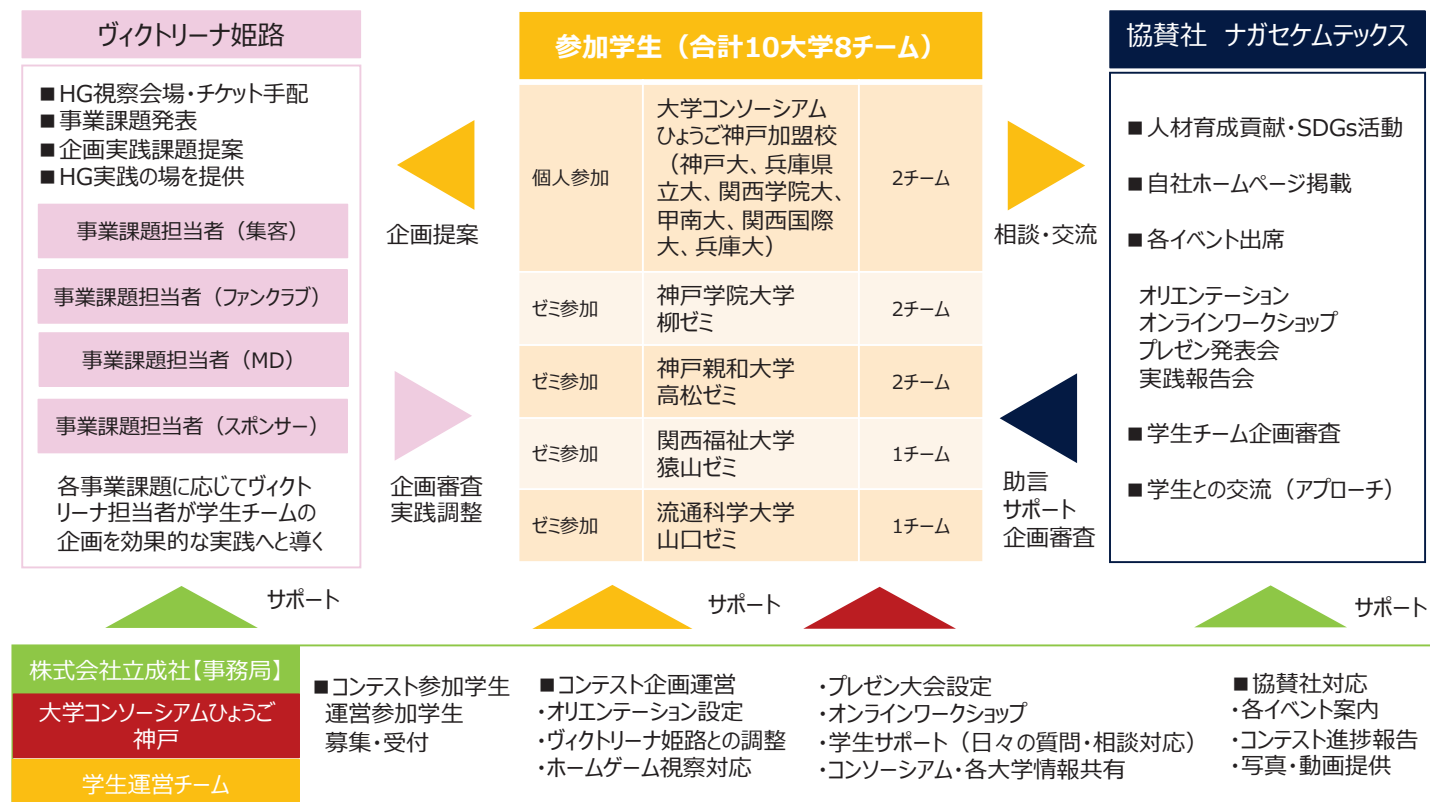
日程	内容
2023年8月6日（土）	オリエンテーション・説明会 姫路市立大学 神戸三宮サテライト
8月6日（日）～10月6日（金）	企画立案準備・オンラインワークショップ ※オンライン
10月7日（土）	企画プレゼン大会 ※兵庫県内
10月14日（土）	実践発表準備 ※オンライン
10月～11月	企画実践準備・チームゲーム挑戦 ※オンライン・ヴィクトリーナ・ウィンク体育館（姫路市内）
12月下旬	チームゲーム会場にて企画発表 ※ヴィクトリーナ・ウィンク体育館（姫路市内）
2024年1月13日（土）	結果発表会、表彰式 ※姫路市内

大学コンソーシアムひょうご神戸

*大学コンソーシアムひょうご神戸。は、兵庫県内の38校からなる大学・短期大学・専修学校で、さまざまな学生が大学の枠を超え、学生間の交流や活動に取り組んでいます。「スポーツビジネスコンテスト」は、地域の活性化に向けての人材育成プログラムとして、地域スポーツの振興をテーマに活動。各大学が大学の強みなどをもとに企画し、マーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得できるきっかけに！ いろんな仲間と切磋琢磨できるチャンス！ぜひご応募ください。

主催 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 MAIL: info@consortium-hyogo.jp
問い合わせ 兵庫県神戸市中央区臨海町1丁目2-8 兵庫国際交流会館1F TEL: 078-271-0233 (9:00～17:00)
協賛 株式会社立成社 協賛 ナガセテムテックス株式会社

- 前回実績を踏まえ、参加学生を中心に、球団・協賛社・事務局で連携しコンテスト運営を行う。
- 実践に向けては、学生チームからの企画提案を審査した上で、球団の各事業課題担当者と進めることで、成果に結びつく実践を目指す。



2023年 年間実施スケジュール

6～7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
参加学生募集	①8/5 「オリエンテーション」 「課題提案・チーム編成」	②8/6～10/6 「企画立案準備・オンラインワークショップ」	③10/7 「企画プレゼン大会」 ④10/14 「実践課題提案」 ⑤実践準備 オンラインワークショップ	⑤実践準備 オンラインワークショップ ⑥現場視察 「ヴィクトリーナ姫路視察」	⑦12/23,24 「企画実践」	⑧1/14 「結果発表会」 「表彰式」

- ① 8月5日(土) スポーツビジネスコンテストのオリエンテーション@神戸学院大学神戸三宮サテライト
ヴィクトリーナ姫路より、オリエンテーション（チーム紹介、および課題テーマの説明：集客増・FC入会数増、MD企画など）
提案後、チーム分けを実施 → 各大学のゼミ単位、および、大学コンソーシアムひょうご・神戸は合同で編成する。
- ② 8月6日(日)～10月6日(金) 企画実施準備 → オンラインワークショップ開催（進捗確認と、協賛者よりアドバイス）
- ③ 10月7日(土) 企画プレゼン会（ヴィクトリーナ姫路からのアドバイスおよび企画実施の承認を得る） @あいめっせホール
- ④ 10月14日(土) 学生チームの企画に対して実践に向けての課題提案
- ⑤ 10月～11月 企画実践準備 → オンラインワークショップ開催（進捗確認と、協賛者よりアドバイス）
- ⑥ 10月～11月 現場視察（ヴィクトリーナ姫路ホームゲーム） → 実際の現場を見て雰囲気、客層、既存の企画を理解し、実践に向かう
- ⑦ 12月23日・24日 ホームゲームにて企画実践
- ⑧ 1月14日(日) 結果発表・表彰式@あいめっせホール

10大学46名が参加申込

コンソチームA	関西学院大学大学院	堀川 歩	ホリカワ アユム
	関西国際大学	ダウ ティ フォン	Dau Thi Huong
	神戸大学	吉田 実加	ヨシダ ミカ
	兵庫県立大学	桂 光輝	カツラ コウキ
	兵庫県立大学	岡 春花	オカ ハルカ
コンソチームB (運営兼務)	関西学院大学	北野 郁子	キタノ イクコ
	甲南大学	李 竜熙	リ リョンフィ
	兵庫県立大学	朝原 令	アサハラ レイ
	兵庫県立大学	浅田 理華	アサダ リカ
	兵庫大学	Nguyen Huu Dai	グエン フウダイ

関西福祉大学チーム	関西福祉大学	振角 亮磨	フリカド リョウマ
	関西福祉大学	前田 光汰	マエダ コウタ
	関西福祉大学	内藤 凜	ナイトウ リン
	関西福祉大学	安積 来愛	アヅミ クレア
	関西福祉大学	大角 輝	オオスミ アキラ

神戸親和大学チーム	神戸親和大学	安田 有希	ヤスダ ユキ
	神戸親和大学	岩崎 楓華	イワサキ フウカ
	神戸親和大学	井上 奈穂	イノウエ ナホ
	神戸親和大学	正中 優衣	ショウナカ ユイ
	神戸親和大学	三國 春	ミクニ ハル
	神戸親和大学	中嶋 実久	ナカジマ ミク
	神戸親和大学	四方 葵花	シカタ アオイ

神戸学院大学チーム (3年生)	神戸学院大学	大塚 淳平	オオツカ ジュンペイ
	神戸学院大学	久津輪 紘斗	クヅワ ヒロト
	神戸学院大学	澤田 菜月	サワダ ナツキ
	神戸学院大学	赤尾 均斗	アカオ ヒロト
	神戸学院大学	木戸 翼作	キド ツバサ
	神戸学院大学	岡野 早矢甫	オカノ サヤカ
神戸学院大学チーム (4年生)	神戸学院大学	坪田 莉好	ツボタ リコ
	神戸学院大学	篠倉 海	ササクラ カイ
	神戸学院大学	山下 陸	ヤマシタ リク
	神戸学院大学	櫛野 未来	クシノ ミライ
	神戸学院大学	勝木 雄斗	カツキ ユウト
	神戸学院大学	中村 圭位	ナカムラ ケイ
流通科学大学チーム	流通科学大学	中野 峻介	ナカノ シュンスケ
	流通科学大学	長浜谷 仁	ナガハマヤ ジン
	流通科学大学	松本 慎ノ介	マツモト シンノスケ
	流通科学大学	原 あいり	ハラ アイリ
	流通科学大学	大野 凱斗	オオノ カイト
	流通科学大学	松本 公一朗	マツモト コウイチロウ
流通科学大学チーム	流通科学大学	澤田 和樹	サワダ カズキ
	流通科学大学	柴 蒼	サカイ ソウ
	流通科学大学	松崎 友梨	マツザキ ユリ
	流通科学大学	太田 涼晴	オオタ リョウセイ
	流通科学大学	小西 敏生	コニシ トシキ
	流通科学大学	原 秀斗	ハラ シュウト
	流通科学大学		

オリエンテーション／オンラインワークショップ

オリエンテーション

日時：8月5日（土）14:00～17:00
場所：神戸学院大学神戸三宮サテライト



オンラインワークショップ

第1回 8月26日（土）15:00～17:15
第2回 9月16日（土）15:00～17:00
第3回 9月30日（土）15:00～17:00
第4回 11月4日（土）15:00～17:00
第5回 11月25日（土）15:00～17:00
第6回 12月9日（土）15:00～17:00
追加 12月16日（土）15:00～16:45



TEAM		CATEGORY
大学コンソーシアム	コンソメ	集客
大学コンソーシアム	ぐりとあき	未定 ⇒ MD
神戸親和大学	高松ゼミ	アカデミー ⇒ MD
流通科学大学	山口ゼミ	アカデミー ⇒ MD ⇒ 集客
流通科学大学	マネーの虎	プロモーション
神戸学院大学	坪田組	集客 ⇒ MD ⇒ 集客
神戸学院大学	百UP	プロモーション
関西福祉大学	カンブクーナ	アカデミー

企画プレゼン会

日時：10月7日（土）13:00～16:30
場所：イーグレひめじ3階 あいめっせホール





マネーの虎



キャンプクーナ



ぐりとあき



坪田組

実践報告会

13

日程：2024年1月14日（日）
 時間：13:30～17:00
 会場：イーグレひめじ3階 あいめっせホール
 内容：各チームの実践報告および表彰式
 学生交流会



33

所属・チーム名		課題	企画名
大学コンソーシアム	コンソメ	集客	【FC会員限定】友人等を誘って 選手直筆メッセージ付きチエキゲット！
大学コンソーシアム	ぐりとあき	MD	自分だけのオリジナルうちわをもって チームを応援しよう！！
神戸親和大学	高松ゼミ	MD	神戸親和大学の学生が考えた！オリジナルパー カーを着てヴィクトリーナ姫路を応援しよう！
流通科学大学	山口ゼミ	集客	①バレーストラックアウト ②サンタを探してクイズに答えろ！！
流通科学大学	マネーの虎	プロモーション	スタンプカードを集めて クリスマスプレゼントをゲットしよう！
神戸学院大学	坪田組	集客	ヴィクトリーナ姫路を応援しよう！ ミニバレーボール大会
神戸学院大学	百UP	プロモーション	LINEで「ヴィクトリーナ」を、「バレー」を身近に 『LINE大改造プロジェクト』
関西福祉大学	カンプクーナ	アカデミー	仲間と協力！お菓子をゲットしよう！





高松ゼミ（神戸親和大学）

ヴィクトリーナアパレル立ち上げに向けて
～パーカーの販売～



ぐりとあき（大学コンソーシアムひょうご神戸）

応援うちわによるPJ企画・実践報告
～ファンを巻き込んだグッズづくり～



百UP（神戸学院大学） LINE大改造プロジェクト





最優秀賞に選ばれた神戸学院大学の学生(右から3人)ら=いずれもイーグレひめじ



大学生がビジネス案などを発表した「スポーツビジネスコンテスト」

ヴィクトリーナ姫路 若者の力で盛り上げ

コンテスト 神院大が最優秀賞

バレーボールVリーグ2部(V2)女子のヴィクトリーナ姫路の盛り上げに若者の発想を生かす「スポーツビジネスコンテスト」の最終プレゼン大会がイーグレひめじ(姫路市本町)で開かれた。県内10大学の学生がファン拡大やグッズ開

発などについて発案・実践した企画内容を発表した。コンテストは2回目、球団運営会社と一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸が共催。たつの市に主力工場がある化学メーカー、ナガセケムテックス(大阪市)が協賛し、賞金

総額50万円を用意した。今回は、神戸大や関西福祉大(赤穂市)などから8チーム46人が参加。昨夏から企画を練り、12月の本拠地戦では予算10万円以内を条件にイベントなどを開いた。最終プレゼンでは、各チームが企画内容を振り返りつつ、イベント当日の様子や問題点を挙げた。最優秀賞に輝いたのは、神戸学院大のチーム。LINE(ライン)の球団公式アカウントの登録者数を増やそうと、アプリのサービ

スを充実させ、選手の写真を直筆サインが入った壁紙を配信した。4年の篠倉海さん(22)は「大学生活で一番貴重な思い出となった」と喜んでいた。(辰巳直之)

ヴィクトリーナ姫路／ナガセケムテックス株式会社



【スポーツビジネスコンテスト】実践報告会が開催されました

2023.8.24

【7月14日(日)】「ナガセケムテックス株式会社×ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸」が協賛する「スポーツビジネスコンテスト」の実践報告会が開催されました。当日は、各チームの発表や質疑応答が行われ、活発な議論が交わられました。

【参加校】
神戸学院大学、神戸大学、神戸市立大学、神戸市立看護大学、神戸市立医療センター総合病院、神戸市立医療センター総合病院、神戸市立医療センター総合病院



最優秀賞に選ばれた神戸学院大学の学生(右から3人)ら=いずれもイーグレひめじ

【協賛校】
ナガセケムテックス株式会社、ヴィクトリーナ姫路株式会社



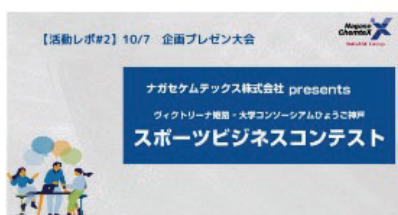
今年も開催！大学生が地元プロスポーツチームの課題解決に挑むビジネスコンテスト

ナガセケムテックス株式会社
2023年7月25日 11:00



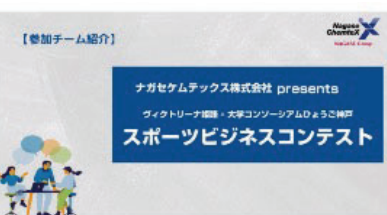
【活動レポ #1】ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト

ナガセケムテックス株式会社
2023年8月14日 17:00



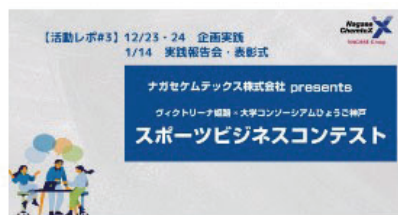
【活動レポ#2】ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト

ナガセケムテックス株式会社
2023年10月7日 14:30



【参加チーム紹介】ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト

ナガセケムテックス株式会社
2023年10月11日 11:00



【活動レポ#3】ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト

ナガセケムテックス株式会社
2023年12月23日 18:00



「なりたい自分」を発見しよう	アクセス お問い合わせ ブログ専用サイト	文系サポート 中大	Language 地球	検索 Q
流通科学大学 受験生の方 留学生の方 卒業生の方 保護者の方 企業・一般の方				
大学案内	学部・大学院	教育	就職・資格	学生生活
入試案内	国際交流	社会連携		

[法科大](#) > [お知らせ](#) > [山口ゼミの学生が、ヴィクトリーナ姫路の課題解決策をホームゲームで実践！](#)

山口ゼミの学生が、ヴィクトリーナ姫路の課題解決策をホームゲームで実践！

公開日：2023年12月11日

人間社会学部人間健康学科・山口志都都准教授のゼミ生2チームが取り組んでいたヴィクトリーナ姫路の課題解決策を、12月23日(土)・24日(日)のホームゲームで実践します。

今夏より、「女子プロバレーボールチーム『ヴィクトリーナ姫路』×大学コンソーシアムひょうご・神戸」合同主催の「スポーツビジネスコンテスト」に取り組んでいる山口ゼミの3年生12名。そのなかで考えてきた、ヴィクトリーナ姫路の集客施策の企画を、このホームゲームで実践し、効果検証を行います。



*画像をクリックするとPDFが開きます

ゼミ生たちが実行計画を重ねながら、約4月から考えてきた企画。ぜひ、会場で体験してみてください。
たくさんのご来場、お待ちしております。

事前に参加を希望される際は、こちらの [Googleフォーム](#) よりアンケートに回答下さい。

これまでの取り組み



山口ゼミの学生が、プロスポーツの事業課題解決に向け立案した企画を実践&検証！

10月7日(土) 企画プレゼン大会 12月23日(土)・24日(日) 企画実践 2024年1月14日(日) 実務報告会【New】 人間社会学部人間健康学科・山口志都都准教授のゼミでは、今夏よりプロスポーツの課題解決に取り組 [...]

プレスリリース

お知らせ

イベント

Ryukaの学び・特色

社会連携

高校・大学連携

学生生活

クラブ活動

サークル活動

国際交流

留学生の方

Ryuka通信

入道開港

就活支援

有志者の声

卒業生インタビュー

図書館・メディアセンター

教養後援会

研究

[illegible]

兵庫津ミュージアム2024年夏季展示・特別企画
“兵庫の魅力” Student Treasure Hunt Project
学生プロジェクト実施概要

兵庫の魅力を体感し、発信しよう！

本日のアジェンダ

- ① 本企画の概要について（約5分）
- ② 本企画の詳細について（約10分）
- ③ プロジェクトスケジュールについて（約5分）
- ④ モニター体験ツアーについて（約15分）
- ⑤ 質疑応答（約15分）

企画背景

✓ 兵庫県万博推進室の設置

2025年大阪・関西万博が生み出す効果・活力の兵庫県への取り込みに向けた総合調整や「ひょうごフィールドパビリオン」の展開、兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化に向けた取組を推進することを目的に、兵庫県万博推進室が設置された。

✓ 兵庫五国の魅力を生かした体験プログラムの公募

兵庫県万博推進室では、兵庫五国の「活動の現場そのもの」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を展開。その個々のコンテンツとして「SDGs体験型地域プログラム」を公募し、将来的に体験型の観光プランなどに育てる計画をしている。兵庫県でできる様々な魅力ある体験を、より多くの方々へ発信していきたい。

✓ インバウンド等の観光需要復活への期待

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内外ともに観光需要が冷え込み、これまでの兵庫県の観光市場が一気に落ち込んだ。しかし、昨今、政府の国内観光喚起の施策や、訪日外国人の水際対策の大幅緩和なども進み、今後の観光需要の回復が期待されている。



ひょうごフィールドパビリオン



**大阪・関西万博に向けたこれらの兵庫県の動向を見据えた企画づくりは
兵庫県内の大学生にとってもまたとない好機となる**

■ 企画名： “兵庫の魅力” Student Treasure Hunt Project

- 内 容： ① 「ひょうごフィールドバビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験
② “兵庫の魅力” 発信のための紹介パネル・映像等の企画・制作
③ 「ひょうごフィールドバビリオンSDGs体験型地域プログラム」課題解決プラン・プレゼンテーション
④ 兵庫津ミュージアムでの学生PJT成果展示（2024年夏展示）

■ 期 間： 2024年2月～2024年9月

■ 参 加 者： 大学コンソーシアムひょうご神戸に所属する各大学・高専の学生（最大30名程度）

■ 主 催： 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

■ 協 力： 兵庫県、兵庫県立兵庫津ミュージアム、公益社団法人ひょうご観光本部、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、
（予 定） 一般社団法人ツーリストシップ 他

■ 企画運営： 株式会社オールウィン



◆企画詳細①

「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

- 概要： 2025年に開催される大阪・関西万博2025を契機とするべく、兵庫県では「ひょうごフィールドパビリオン」構想を打ち立て、万博で関西に訪れる国内外の観光客を兵庫県にもお招きし、兵庫の魅力を思う存分堪能いただくことを目的とした観光施策がスタートしました。
その中の一つである「SDGs体験型地域プログラム」を兵庫県内の各団体より公募し、兵庫県が認定をするプログラムとして今後発信をしていきます。
この体験型プログラムを学生がモニター体験し、その体験から学生が彼らの目線で感じたことをレポーティングし、良い面だけでなく課題面についても協議しながら、どのように魅力を国内外に発信していくことが効果的なのかを思案するという、体験・課題解決型のプログラムとして実施します。
- 内容：
✓ ひょうごフィールドパビリオン構想についての講義の受講（座学のみ）
✓ 旅行者が旅行先を訪れる際の心構えとしてのツーリストシップについて学ぶ（座学、フィールドワーク）
✓ 実際に体験する「SDGs体験型地域プログラム」の選定（グループ分けをして複数のプログラムに参加）
✓ 選定された「SDGs体験型地域プログラム」へのモニター体験
✓ 体験後の事後レポート作成～グループ内で各自のレポートをシェアし、グループの代表レポート作成
✓ 全体での体験レポート報告会を開催
- 時期： 2024年3月～2024年4月



Copyright 2023 ALLWIN.inc ALL Rights Reserved.

7

◆企画詳細②

“兵庫の魅力” 発信のための紹介パネル・映像の企画制作

- 概要： 「SDGs体験型地域プログラム」への参加と並行し、プログラムを体験する学生の中から希望者を募り、動画制作チームを結成。
現地で動画や写真を撮影し、参加したプログラムやその土地の魅力を発信するためのパネルや動画コンテンツを企画から制作までをすべて学生が行います。（制作はスタッフがサポート）
完成した動画のアウトプット先も予め確保し、ただ動画を作るだけでは終わらないプログラムとして実施します。
- 内容：
✓ 動画制作の基礎についての講習会（座学、グループワーク）
✓ 「SDGs体験型地域プログラム」参加時の動画・写真撮影
✓ 参加したプログラム及びその土地の魅力発信パネル・動画の制作
✓ 完成した動画のお披露目（兵庫津ミュージアムでの展示、兵庫県内のリアルサイネージ、各種WEB媒体等）
- 時期： 2024年3月～2024年7月頃



Copyright 2023 ALLWIN.inc ALL Rights Reserved.

◆ 企画詳細 ③

「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」 課題解決プラン・プレゼンテーション

- 概要： 「SDGs体験型地域プログラム」への参加体験から見た、ツーリスト目線からの課題を抽出し、その課題をどのようにすれば解決できるのかについてプランニングし、出来たプランを体験プログラム実施事業者や自治体関係者などへプレゼンテーションします。
プラン作成にあたっては、プランニングの基礎やプレゼンテーション資料の作成のノウハウなどを学ぶ機会も設け、学生がビジネススキルを獲得する機会にもする。
- 内容：
 - ✓ 「SDGs体験型地域プログラム」参加から見たプログラム・地域の課題を抽出・分析
 - ✓ 課題解決のためのプラン案をグループ内でディスカッション
 - ✓ 企画プランニング及びプレゼンテーション資料作成の基礎演習
 - ✓ グループで出た企画案をまとめ、企画書を作成
 - ✓ 体験プログラム実施事業者や自治体関係者などへプレゼンテーション
- 時期： 2024年4月頃～2024年7月頃



Copyright 2023 ALLWIN.inc ALL Rights Reserved.

9

◆ 企画詳細 ④

兵庫津ミュージアムでの学生PJT成果展示・フォーラム開催 (2024年夏展示)

- 概要： 兵庫津ミュージアムが2024年夏季特別展示として「万博」をテーマとする予定であり、その展示コンテンツの一つとして学生が取り組んできたこれまでの成果物を展示します。
また展示だけではなく、展示期間中に参加学生を中心に出前体験プログラムや学生フォーラムなどを企画し、この取り組みの中で発見した“兵庫の魅力”の発信をさまざまな形で行い、本プロジェクトの集大成とする。
- 内容：
 - ✓ 兵庫津ミュージアムにて“兵庫の魅力” Student Treasure Hunt Project (仮名) の企画展示
 - ✓ 企画展示期間中の土日祝に限定して、学生ナビゲーターとして来館者へ展示の説明などに対応
 - ✓ 兵庫津ミュージアムでの企画展示期間中に、来場者へ体験して頂ける“兵庫の魅力”体験コーナーを企画実施
 - ✓ 『“兵庫の魅力” Student Treasure Hunt Project 学生フォーラム (仮名)』を企画実施
 - ✓ その他、学生主体で実施希望の企画がある場合に同企画展示期間中に実施を検討
- 時期： 2024年7月20日 (土) ～2024年9月23日 (月祝)



Copyright 2023 ALLWIN.inc ALL Rights Reserved.

プロジェクトスケジュール

◆ 実施スケジュール

日程	内容	備考
2024年2月27日（火）	学生プロジェクトメンバー初回オンラインミーティング①	活動グループ案内
2024年2月28日（水）	学生プロジェクトメンバー初回オンラインミーティング②	活動グループ案内
2024年3月5日（火）	定期ミーティング・グループワーク&講義①	モニターツアーについて、展示物制作の説明
2024年3月12日（火）	定期ミーティング・グループワーク&講義②	展示物制作の説明（おもに映像制作について）
2024年3月15日（金）&4月14日（日）	現地ツアー【A播磨（多可町&西脇市）】	
2024年3月19日（火）	現地ツアー【B但馬（豊岡市）】	
2024年3月27日（水）	現地ツアー【C丹波（丹波市&丹波篠山市）】	
2024年4月1日（月）	現地ツアー【D摂津（尼崎市&川西市）】	
2024年4月5日（金）	現地ツアー【E淡路（淡路市・南あわじ市）】	
2024年4月～6月下旬	展示物制作（パネル入稿データ作成等）	2日間の全体制作日を設定予定
2024年4月～7月下旬	課題解決プラン・プレゼンテーションまとめ	
2024年7月16日（火）or17日（水）	兵庫津ミュージアム2024年夏季企画展示準備	
2024年7月19日（金）	展示スタート前プレス内覧会	
2024年7月20日（土）～9月23日（月祝）	兵庫津ミュージアム2024年夏季企画展示スタート	
2024年7月20日（土）～9月23日（月祝）	展示期間中の学生展示ナビゲーター対応	土日祝を中心に学生ナビゲーターとして企画展示の説明対応。※有志で自由参加
2024年8月10日（土）	万博展“夏祭り”ワークショップデー（仮称）	1日限定で現地ツアーを体験できるワークショップイベントを企画開催します。
2024年8月31日（土）	学生フォーラム開催（課題解決プラン・プレゼンテーション）	
2024年10月6日（日）	企画終了報告会	

企画詳細

「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

①摂津ツアー概要

「概略」

■ツアー内容

- ・尼崎運河クルーズツアー（協力：あまがさき観光局、武庫川渡船）
- ・「日本一の里山」を巡るウォーキングツアー（協力：NPO法人北摂里山文化保存会、徳林寺）

■ポイント

<尼崎運河クルーズツアー>

- ✓現在でも貨物船が行き交う現役の運河で、「産業都市尼崎」ならではの運河クルーズ。
- ✓日本で最初のパナマ運河方式の閘門として建設された「尼ロック」をチャーター船で通過し、水門の開閉や水位が上下するのを体験。
- ✓魚釣り体験も実施し、獲れた魚を尼崎市立魚つり公園にある広場にてランチBBQ。

<「日本一の里山」を巡るウォーキングツアー>

- ✓400年前から茶道における最高級の炭「菊炭」の産地として知られ、現在でも炭焼きが続けられている川西市黒川地区を訪問。
- ✓生活様式の変化に伴い里山が現状抱えている問題について、その問題が山だけでなく自然界にもたらす影響などについての講話。
- ✓里歩きをし、炭焼き小屋を見学し、お茶席を体験することで、今なお「生きている」里山、本当の日本の原風景に触れる。

「ツアー日程」

4月1日（月）終日

「現地イメージ」

◎あまがさき観光局



◎北摂里山文化保存会



「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

①摂津ツアー行程イメージ



企画詳細

「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

②播磨ツアー概要

「概略」

■ツアー内容

- ・多可の森健康ウォーキングと播州織オープンファクトリー（協力：多可町役場、一般社団法人多可の森健康協会、ソーイング竹内）
- ・新発見！デザイナーtamaki niimeによる播州織のものづくり体験（協力：有限会社玉木新雄）

■ポイント

- ＜多可の森健康ウォーキングと播州織オープンファクトリー＞
- ✓杉の木が生い茂る多可の森で、ガイドの先導のもと森林浴をしながらの健康ウォーキング
- ✓播州織縫製工場のソーイング竹内の工場見学
- ✓ものづくりを実際に体感する体験型ワークショップ

＜新発見！デザイナーtamaki niimeによる播州織のものづくり体験＞

- ✓播州織の魅力を感じられ、自社内で生地づくりから作品になるまでの工程を全て見ることができるLabの見学
- ✓縫製加工の「体験型」ワークショップ（ショールの縫製・カット・タグ付け）
- ✓廃工場のリノベーションや端布を糸に再生する「反毛」など、古いものを新しい価値に展開し、サステナブルな地域づくりを学ぶ

「ツアー日程」

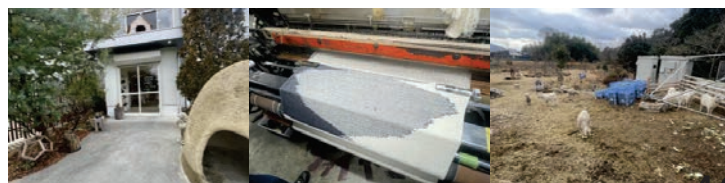
多可町：3月15日（金）終日／西脇市：4月14日（日）半日

「現地イメージ」

◎多可の森健康ウォーキングと播州織オープンファクトリー



◎新発見！デザイナーtamaki niimeによる播州織のものづくり体験



「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

②播磨ツアー行程イメージ

<多可町：3月15日（金）>

8:00	JR神戸駅前 集合～多可の森へ移動
9:45	多可の森（多可町）に到着
10:00	多可の森健康ウォーキング体験
11:30	エーデルささゆりにて昼食～ソーイング竹内へ移動
13:00	ソーイング竹内にて播州織縫製工場見学
15:30	ツアー終了～JR神戸駅へ移動（17:30頃）

<西脇市：4月14日（日）>

8:15	JR神戸駅前 集合～多可の森へ移動
10:00	tamaki niime職人・デザイナーによるLab見学
10:50	農業スタッフによる tamaki niime 畑の土作り体験
11:20	tamaki niime mura 2F にて学生の質疑応答会
12:00	昼食
13:00	ツアー終了～ JR神戸駅へ移動（15:00頃）

企画詳細

「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

③但馬ツアー概要

＜概略＞

■ツアー内容

- ・にっこり体験/野菜収穫体験＋農業体験（協力：Veggie de +）
- ・野生復帰したコウノトリが教える地域環境づくり（協力：兵庫県立コウノトリの郷公園）

■ポイント

＜にっこり体験/野菜収穫体験＋農業体験＞

- ✓旬の野菜の収穫、出荷調整作業や袋詰め、タイミング次第で種まきや定植作業など本格的な農業体験
- ✓多品目の野菜（約30種）を栽培する田畑やビニールハウスをまわりながら農業体験するツアー型体験プログラム。
- ✓元スポーツクラブのインストラクターという異色の経歴を持つスタッフが野菜作りへのこだわりを裏話も交えながら案内するツアー型の農業体験

＜野生復帰したコウノトリが教える地域環境づくり＞

- ✓1971年に一度絶滅してから人工的に飼育繁殖の努力あり2005年に野生復帰までたどり着いたコウノトリの歴史について学ぶ
- ✓コウノトリの生態を学びながら、なぜ絶滅したのか？なぜ今は野生のコウノトリが見られるようになったのかの謎から環境問題について学ぶ
- ✓コウノトリの餌作りと公園内で飼育管理をされている餌やりを体験

＜ツアー日程＞

3月19日（火）終日

＜現地イメージ＞

◎Veggie de +



◎兵庫県立コウノトリの郷公園



「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

③但馬ツアー行程イメージ



企画詳細

「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

④丹波ツアー概要

＜概略＞

■ツアー内容

- ・Good Experience！兵庫丹波（協力：丹波サイクリング協会）
- ・「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる（協力：丹波立杭陶磁器協同組合）

■ポイント

< Good Experience！兵庫丹波 >

- ✓丹波市を中心にスポーツバイクを活用し、町並みや田畑などの日本の原風景を四季折々ので楽しめる
- ✓サイクリングツアーを通じて丹波の魅力を感じてもらい、丹波の名産や丹波でしか味わえない体験してもらう
- ✓地元の農家などの生産者との交流する機会

< 「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる >

- ✓窯元路地歩き、窯元での陶芸等交流体験、「最古の登窯」見学、丹波焼と食の体験等を中心に、日本遺産である丹波焼の里を巡り、立杭の自然美の中で800年続く窯元達の営みに触れ、素朴で温もりのある手仕事の魅力、文化的創造性、伝統技術の豊かさを感じる
- ✓ものづくりの現場を世界中の人に知っていただき、丹波焼や自然と調和したライフスタイルといった里の魅力を共感

＜ツアー候補日＞

3月27日（水）終日

＜現地イメージ＞

◎丹波サイクリング協会



◎丹波立杭陶磁器協同組合



「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

④丹波ツアー行程イメージ



企画詳細

「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

⑤淡路ツアー概要

≪概略≫

■ツアー内容

- ・香りの島 お香づくり体験＆工場見学ツアー（協力：兵庫県線香協同組合）
- ・南あわじ市の日本農業遺産を未来につなげよう（協力：サザンバード）
- ・慶野松原 ― 来て・見て・学んで・楽しもう ―（淡路島・慶野松原根上がり隊）

■ポイント

<香りの島 お香づくり体験＆工場見学ツアー>

- ✓天然お香を選び、独自の香りを調合できる線香作り体験
- ✓昔ながらの線香づくりの現場見学＆職人との交流ツアー

<南あわじ市の日本農業遺産を未来につなげよう>

- ✓水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システムの実態を見学
- ✓たまねぎジャム作り体験

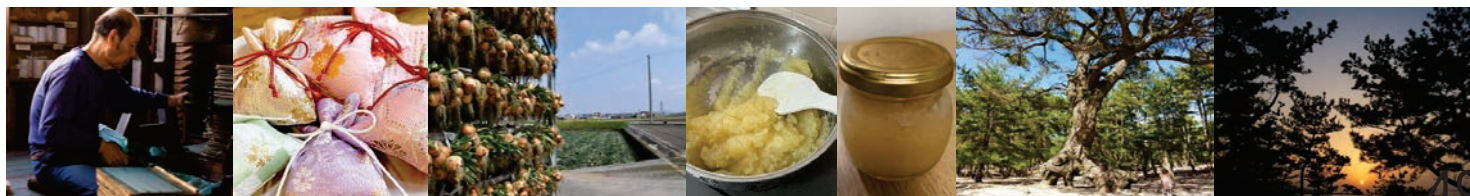
<慶野松原 ― 来て・見て・学んで・楽しもう ― >

- ✓国の名勝（文化財）に指定される慶野松原の環境保全のための枯れ松葉かき体験と植樹体験
- ✓海岸に流れ着いた海ごみの清掃体験を通じて環境問題を考える

≪ツアー日程≫

4月5日（金）

≪現地イメージ≫



「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」モニター体験

⑤ 淡路ツアー行程イメージ



兵庫県委託事業

「大学連携組織を活用した県民向け防災施策 P R 動画作成委託業務」実施報告書

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

兵庫県委託事業「大学連携組織を活用した県民向け防災施策 P R 動画作成委託業務」

(委託期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日) を以下内容の通り実施した。

1.目的

近年頻発する豪雨災害などの自然災害や、今後発生すると言われている南海トラフ地震への対策や備えについて、県民が正しい認識を持つことが、県民の命を守り、被害の軽減につながる。兵庫県では、災害時に誰一人取り残さない各種施策を展開されており、今後もより一層の充実を図る必要がある。

また、防災に対して難しい印象を持つ県民が一定数存在するのも事実である。そこで、県内大学で学ぶ大学生が兵庫県の防災施策を学び、若者目線でわかりやすく啓発する動画を作成し、活用されることで、みんなが助け合う意識づくりや県民の防災リテラシー向上に繋げることを目指す。

2,内容

兵庫県内の大学間連携組織「大学コンソーシアムひょうご神戸」(38 校が加盟) に所属する大学生たちが、動画を企画・制作するにあたり、(1)災害や防災施策の現状について学生、兵庫県危機管理部、人と防災未来センターの語り部の方、加盟校教員へのヒアリング等を行い、(2)成果品としての防災 P R 動画の作成に取り組んだ。2024 年 3 月 11 日より、Youtube 内の兵庫県インターネット放送局「ひょうごチャンネル」において防災・減災啓発動画「ぼうさい学生ニュース」として、公開された。

3. 参加者

計 22 名。加盟校から以下の通り、企画・制作に関して参加があった。

大学…7 校 18 名 (学生)

(内訳) 関西国際大学(11)・関西学院大学(1)・神戸学院大学(1)・神戸市看護大学神(2)、神戸常盤大学(1)・

神戸女学院大学(1)・兵庫県立大学(1)

大学…1 校 2 名 (教職員)

(内訳) 神戸常盤大学(2)

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局…2 名

4,内容詳細

県民向け防災施策 P R 動画を制作するにあたり、学生メンバーは兵庫県危機管理部より、阪神・淡路大震災発災当時から現在に至る自然災害の現状と課題、今回、若者が防災施策 P R 動画を制作する意義について説明を受け、学び対話を行うことから始めた。次に、兵庫県防災士会理事長で防災教育を専門とする、神戸常盤大学教員・室崎友輔氏に学生が、防災の啓発活動に取り組む上で重要な視点、伝え方を学んだ。その後、被災地ボランティアに取り組む学生や防災を専門として学ぶ学生の意見、人と防災未来センターの映像や資料、語り部の方のお話を聞くなど、20 回以上に及ぶミーティングと活動を行った。学生

相互の学び合いを通じて、啓発動画のコンセプト決定から、シナリオの構成・制作、出演・演出に至るすべてを学生たち自身で取り組んだ。

制作過程においては、兵庫県危機管理部総務課、人と防災未来センターより助言・協力を得て、学生は試行錯誤を重ね、防災・減災に関する理解を深めることができた。集大成となる完成動画は、2024年3月11日より、Youtube内の兵庫県インターネット放送局「ひょうごチャンネル」にて、防災・減災動画「ぼうさい学生ニュース」<https://hyogo-ch.jp/video/5177/> として公開された。

<活動内容>

1) 学生ミーティング・研修内容 ※実施は2023年

第1回……………オリエンテーション（6/23、6/27、6/28、6/29）＊全員がいずれかに参加

第2回……………防災PR動画制作説明会：兵庫県危機管理部と学生の意見交換（7/12）

第3回……………講義「防災と啓発手法」

講師：神戸常盤大学講師・室崎友輔氏 兵庫県防災士会理事長（8/8）

第4回～6回……動画コンセプト企画・検討（8/23、8/28、8/29）

人と防災未来センターの映像展示に学び、コンセプトを考える（8/28、8/29）

第7回 兵庫県危機管理部への学生インタビュー・打ち合わせ（9/20）

第8回～9回……動画コンセプト確定（9/25、9/30）

第10回～11回……シナリオ案企画・検討（10/2、10/5）

第12回～13回…シナリオ制作（資料・データ調べ）：人と防災未来センター訪問（10/6、10/7）

第14回～17回…シナリオ制作（10/14、10/16、10/17、10/23）

第18回～22回…動画出演のための稽古（11/6、11/7、11/9、11/14、11/15）

第23回……………スタジオ撮影（11/16）

2) 動画制作会社にてスタジオ撮影・編集（2023/11/16～2024/2/26）

県民向けの啓発動画にふさわしい品質維持のため、映像撮影・編集、ユニバーサル対応の字幕付与をプロの制作会社に依頼した。

3) 期間中、兵庫県危機管理部総務課に動画制作の進捗報告を月一回程度行い、制作を進めた。

兵庫県へ2024年2月28日に完成動画データを納品し、承認を得た。

4) 完成した防災PR動画の案内について

①Youtube内の兵庫県インターネット放送局「ひょうごチャンネル」

防災・減災動画「ぼうさい学生ニュース」 <https://hyogo-ch.jp/video/5177/>

②大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページ【地域で輝く学生 vol.51 防災・減災動画

「ぼうさい学生ニュース」が完成！－マイナスをプラスに、等身大の感情を伝える－学生による動画作成プロジェクトを終えて】 <https://note.com/consoshyogo/n/nad28d6810f59>

③大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校38校への周知。

出演学生の所属校ホームページ上で本取組の内容と「ひょうごチャンネル」URLが広報された。

■参加学生の感想

最初は被災経験がなく、防災に関する知識も不十分な一学生に過ぎない私に今回の大役が務まるのかと苦悩しました。大災害という未知な存在に関して、自問自答を繰り返すも、浮かんでくるのは「実感がわからない」「他人事として捉えてしまう」という無責任な言葉ばかり。仕方がないことと思いつつも、自分に嫌気がさしました。しかし、その事実を仲間たちに打ち明けると、彼等も同じような感情を抱いていると知り、どこか安堵を覚えました。

同時に自分のマイナス面をプラスに捉えようという、前向きな気持ちが芽生えました。私には災害時の実態や、そこから得られた教訓を伝えることはできません。しかし代わりに、経験が乏しいがゆえの恐怖や不安な感情を理解し、同じような心情を抱える人々に寄り添うことができると確信しました。当初は災害や防災を「人に教える」ことばかりに意識が向いており、知識や経験の不足を懸念していました。しかし、大切なことは教えるのではなく、「仲間たちと素直な感情をぶつけ合う」ことにより「マイナス面もプラスに捉えられる」と知ったことにより「自分らしく人に伝える」ことの意義に気づくことができました。

私は、年齢や国籍に関わらずわかりやすくするためにはどうすればよいか、コンセプトやシナリオ作成の際に重視することを大切にしました。防災のために、また災害時のために伝えておきたいことはたくさんあり、その中でどのような情報を中心に伝えていくかを熟考した。動画のコンセプト・シナリオ作成、撮影に至るまでかなりの時間と労力が必要でした。それでも途中で諦めず最後までやり遂げることができたのは、一緒に頑張ってきた仲間のおかげです。防災に関しての知識を得ることができただけでなく、他大学の学生と一つのプロジェクトに取り組むという特別な経験ができました。

防災施策 PR 動画プロジェクトがスタートしてから1番大変だったのが、動画の内容・方向性を決めることでした。約10分という短い時間のなかで何を伝えるべきか、メンバーだけでなく、自分自身ともすごく葛藤しました。時にはメンバーとも意見が合わない時もありましたが、しっかりとコミュニケーションをとり進めることができました。

メンバーの中に防災のことについてあまり知らない学生もいたおかげで、わかりやすく伝えるためにはどうすれば良いか、この動画を見た人たちが少しでも防災に興味を持ってもらうにはどういう風に伝えればいいのかすごく考えるきっかけになりました。

この動画を見た人たちが少しでも防災に関心を持ってもらい、日々の生活の中でいざという時のために何か1つでも備えてくれたら嬉しいです。自分の住んでいる地域のハザードマップを確認したり、食料を少し多めに買って備蓄したり、避難経路や避難場所を家族のみんなで確認するなど、自分の命・大切な人の命を守るためにこの動画を通じてアクションを起こしてほしいです。

とても貴重な経験だった。自分が行き詰まっても、学生ミーティングに参加すれば、一緒に考えてくれ、自分とは異なった考え方や意見で新たな糸口が見つかり、自分では思っていなかった方に進んで行く。参加することによって得られるものがあり、モチベーションにつながるかわかり、すごく勉強になりました。メンバーにはとても感謝しています。また、活動を楽しむことを大切にしました。一度しんどいと思ってしまうと続かないし、投げ出してしまうので楽しめることを見つけ、苦痛にならないように意識することで意欲的に取り組めると思った。さらに、自分が思ったことははっきり言うことを大切にしました。これまでは苦手分野だったが、人と異なった意見でもはっきり言うことによって、改善されてより良いものが出来上がると実感しました。実際、他の人にはっきり意見してもらった時は、新たな気づきがあり、ありがたかった。人と違う意見を言うことは勇気のいることだが、発言して消化することに意味があると思った。今回の活動を通して、大変なことは多かったけれど、やってよかったと思えました。頼もしい仲間もできて、他大学の人と交流が持てたことが良かったです。

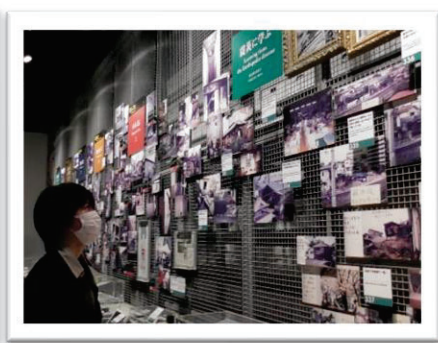
活動の様子（写真）



兵庫県災害対策センターでの説明会で



将来の夢も語り、意気込みを伝える学生



人と未来防災センターを訪ねて学ぶ



危機管理部総務課に学生がインタビュー



チームワークを発揮して伝え方を工夫



緊張の中、初めての撮影に奮闘する学生たち



ひょうごチャンネルにて公開「ぼうさい学生ニュース」

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期
(2022年度～2026年度)

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]

大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。

大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。

大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の4つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2024 年4月現在

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の3つを重点項目として取り組む。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携

①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上

（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業への就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。

（担当）キャリア部門

【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信

（目標）情報公開企業・団体数120社以上

（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。

（担当）キャリア部門

②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施

（目標）各年参加校数20校以上

（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。

（担当）高大連携部門

【取組2】加盟校の魅力を情報発信

（目標）各年情報提供先数 高等学校等 200 か所以上

（内容）加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

（担当）高大連携部門

③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

（目標）各年参加者数 50 名以上

（内容）他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

（担当）学生交流部門

【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

（目標）情報公開数 200 取組以上

（内容）加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。

（担当）学生交流部門

2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援

④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進

【取組1】留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の 70% 以上。

（内容）“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。

（担当）キャリア部門

⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進

【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上（期間中2回測定）

（内容）兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（日本学生支援機構委託事業）において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

（担当）国際交流部門

【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

（目標）本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上（期間中2回測定）

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

（担当）国際交流部門

3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供

⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

【取組1】加盟校間でのFD・SD セミナーの公開

（目標）各年セミナー数5件以上

（内容）加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD 部門

【取組2】FD・SD 情報交換会、セミナー等の開催

（目標）各年参加者数50名以上

（内容）加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD 部門

⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応

【取組1】単位互換事業の実施

（目標）各年開放科目数10科目以上

（内容）加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

（担当）教育連携・教務部門

【取組２】多様な学修機会の提供

（目標）各年プログラム数５件以上

（内容）加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する（ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等）。

（担当）教育連携・教務部門

⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組１】リカレント教育の普及促進に向けた取組

（目標）各年参加者数５０名以上

（内容）加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組２】加盟校のリカレント教育に関する情報発信

（目標）各年１０校以上

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組１】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築

（目標）大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充

（内容）兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。

（担当）企画運営委員会

【取組２】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築

（目標）緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築

（内容）感染症（新型コロナウイルス感染症等）や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有す

る。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。

（担当）企画運営委員会

⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備

【取組１】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

（目標）加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

（内容）加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

（担当）企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以 上

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第 38 条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則 2 名(教員 1 名、職員 1 名)。
- (2) 毎年度、第1回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は 2 年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選抜制とし、キャリア委員会及び FD・SD 委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6 事業委員会の副委員長校の選考は、選抜制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選抜制】

- ① 選抜制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選抜することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選抜制 4 事業委員会の正副委員長及び輪番制 2 事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。
- ② 選抜制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③ 1 大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023 年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023 年度からの担当期間を原則として 3 年間（2023 年度～2025 年度）とする。
- ③2026 年度～2027 年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて 2025 年度後期に検討するものとする。

4. 事業委員会の任務

- (1) 事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

- (1) 事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2) 事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則 2 名の委員」に拘らず、計 3 名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件(定足数)

- (1) 事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2) 委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3) 「委任状」の制度は用いない。
- (4) 事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数

- (1) 正会員あたり各 1 個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校

- (1) 事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2) プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3) 委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局

- (1) 事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

10. 改廃

- この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019 年4月1日から施行する。

附則

(1)この申し合わせは、2022 年4月 1 日から施行する。

(2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022 年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め 1 年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月 1 日から施行する。

以 上